

平成23年度優先度判定パブリックコメント結果

No.	属性	年代	府省名	施策番号	施策名	ご意見概要	ご意見	その理由
4001	その他	40～49歳	総務省	20110	フォトニックネットワーク技術に関する研究開発	このまま推進すべき	光通信産業に力を注ぐことこそ、将来的な雇用対策になると思われる	光通信産業はすべての産業の基盤として、21世紀の日本で最も成長が見込めると考えている
4002	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24122	革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ	このまま推進すべき	計画どおり実施されるべき施策であると考えます。	近年、ライフサイエンス分野の発展はすさまじく、日本も含め先進国各国は凌ぎを削っている。本施策はタンパク質研究およびゲノム研究、両方を俯瞰して行われており、世界に類例を見ないプログラムである。このような独特な視点による研究(支援)体制は新たな方向性を生み出し、我が国がライフサイエンス分野においてイニシアティブをとれる可能性を秘めている。この施策が予定通り遂行されることを希望する。
4003	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24136	世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)	このまま推進すべき	このまま推進すべきである。	世界で活躍する外国人研究者が滞在して研究を行いたいと思う研究拠点を作るため。日本は言語や習慣が独自であるため、国際競争では不利である。このハンデを克服するには、トップレベルで活躍する外国人研究者と共同研究を行い、世界規準を理解していく必要がある。
4004	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	科学研究費補助金はこのまま推進すべきです。日本人がここまでGDPで世界第2位であったのは、理系科学者によるものが大きいからです。	資源も、科学技術も無い国では日本の経済は失速していくからにほかなりません。もし、科学技術力が韓国、中国が日本を越えたとき日本は何も稼げませんからです。
4005	大学・公的研究機関	50～	文部科学省	24169	我が国の宇宙技術の世界展開 -最先端宇宙科学・技術と人	このまま推進す	特にGPM/DPRおよびGCOM-W計画の着実な推進により気候変動の	気候変動の理解と対策のために、地球全体の水循環の観測はまだ不足しており、推進が必須であるため。また、TRMM等による熱帯垂熱帯域の降水について

	(独 法・公 設試 等)	59歳	省		材育成をセッ トにした新た な海外展開 戦略-	べき	理解と対策に関する貢 献を確実にすることは 重要である。	の衛星観測は着実にそ の目的に向かって成果 を上げているため、 GPM/DPR1によって全球 の降水の立体観測を行 う科学的効果は大きい と期待できるため。
4006	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・公 設試 等)	30～ 39歳	経 済 産 業 省	27007	次世代印刷 エレクトロニ クス材料・プ ロセス基盤 技術開発事 業	このまま 推進す べき	印刷技術によって電子 デバイスを作製するこ とは、持続可能な社会 を目指した産業の最も 重要な技術革新の一つ である。またフレキシ ブルな電子デバイスの 実現はユビキタス情報 社会におけるキーデバ イスである。これらに 関する研究開発を加速 させる重要な施策であ り、是非推進すべきで ある。	印刷技術によるデバイ スの製造は、アメリカ 、EU、アジアにおいて コンソーシアムが形成 されており、多額の資 金のもと、活発に研究 開発が行われている。 この分野において日本 がリーダーシップを とり産業界を活性化さ せるためには、このよ うな施策は非常に重要 である。課題の設定や 目標も明確であり、こ のまま推進するのが妥 当であると考ええる。
4007	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・公 設試 等)	60歳 ～	文 部 科 学 省	24145	私立学校施 設高度化推 進事業費補 助	このまま 推進す べき	多彩な学術活動を展開 する上で私立学校施設 の充実向上を図る必要 がある。そのためには 高度化推進事業費補助 金が必要であると考え る。	多彩な学術活動を展開 する上で私立学校施設 の充実向上を図る必要 がある。そのためには 高度化推進事業費補助 金が必要であると考え る。
4008	その 他	40～ 49歳	総 務 省	20102	超高速光エ ッジノード 技術の研究 開発	このまま 推進す べき	光通信産業こそこれか らの日本の成長産業で す、光通信産業に力を 注ぐことこそ将来的な 雇用対策になると思い ます。重点的に力を注 いでいくべき産業です。	光通信産業はこれから の21世紀の日本で最 も成長が見込める最も 重要なグリーンIT産業 だからです
4009	民間 企業	50～ 59歳	経 済 産 業 省	27005	グリーン・サ ステイナブル ケミカルプ ロセス基盤 技術開発	このまま 推進す べき	本施策は気体原料や植 物由来の原料から、微 生物の物質変換機能を 利用したバイオポリマ ーを活用した技術の開 発であり、CO2の削減 に有効で、地球環境に 貢献する技術であり、 施策27005は、是非推 進すべきと思います。	石油資源も有限である とともに、CO2の発生 等を勘案しても、本技 術は環境に優しい技術 であり、製造されるポ リマーも生分解性を有 する事からも、環境に 優しい素材を提供する 技術である事より、是 非、実用化すべきと判 断します。
4010	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・公 設試 等)	60歳 ～	文 部 科 学 省	24146	私立大学等 研究設備等 整備費補助	このまま 推進す べき	私立大学等の学術研究 活動を促進するため には基盤を整理し研究 設備等整備費補助金の 充実が不可欠であると考	私立大学等の学術研究 活動を促進するため には基盤を整理し研究 設備等整備費補助金の 充実が不可欠であると考

	設試等)						える。	える。
4011	大学・公的研究機関(独法・公設等)	60歳～	文部科学省	24147	私立学校教育研究装置等施設整備費補助	このまま推進すべき	私立学校教育研究施設の強化を図るためには装置等の施設整備費補助金が必要であると考ええる。	私立学校教育研究施設の強化を図るためには装置等の施設整備費補助金が必要であると考ええる。
4012	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24143	大学院教育改革推進事業のうち、グローバルCOEプログラム	このまま推進すべき	人材育成はさらにお金をかけてでも推進すべきだと思う。	今後、人材育成に対する費用が削減されると優秀な研究者はさらに海外へ移動し、日本の競争力の低下が招かれると考えられる。そのため、人材育成に特化したこのプログラムはより重要なものであり、推進すべきだと思う。
4013	その他	40～49歳	総務省	20110	・フットニクネットワーク技術に関する研究開発	このまま推進すべき	光通信産業こそこれからの日本の成長産業です、光通信産業に力を注ぐことこそ将来的な雇用対策になることです	光通信産業はこれからの21世紀の日本で最も成長が見込める最も重要なグリーンIT産業だからです
4014	民間企業	40～49歳	経済産業省	27120	革新型太陽電池国際研究拠点整備事業	このまま推進すべき	太陽電池の新規技術は期待したいところである。ただし効率のみを追い求めるのではなく、価格低減の視野は持つべきである。	普及推進には性能アップ+価格低減の研究開発も進めるべきであろう。
4015	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24177	大強度陽子加速器施設(J-PARC)	このまま推進すべき	J-PARCは陽子加速器として世界最高の性能をもち、日本が原子核物理学で世界をリードするために必要不可欠な施設です。そこで進展が予想される新たな原子核物理分野は海外からも大きく期待されています。国際協力の観点から、また若手研究者育成にとってもJ-PARC計画を推進することは非常に重要です。	J-PARCの一次計画は完成しましたが、当初計画の50 GeVは達成されておらず、またハドロン実験ホールは非常に狭く、多岐にわたる実験を展開することができません。これまでの投資を無駄にしないためにも、ハドロン実験ホールを拡張し、また当初計画の50 GeVを目指して更なる計画推進が必要です。
4016	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金 継続	このまま推進すべき	大学への運営費を減らすのであれば、科学研究費補助金はさらに増額して行く必要がある。	科学技術の基礎研究が、人や国の発展のためには必要であるから。

	設試等)							
4017	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24177	大強度陽子加速器施設(J-PARC)	このまま推進すべき	1MW運転の達成を目指し、強力に推進すべきである。	J-PARCは大強度陽子加速器として、素粒子・原子核から生命科学や材料科学にいたるまで非常に幅広い分野の研究を展開できるユニークな施設となっている。設計開始時のビームパワー1MW運転はニュートリノ振動実験など、世界最先端の競争にさらされている研究に必要不可欠であり、早期に実現するための措置を予算面でも人員面でも講ずることは、我が国が当該分野でのリードを続けていくために重要な施策であるから。
4018	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	総務省	20111	新世代ネットワーク基盤技術に関する研究開発	このまま推進すべき	新世代ネットワーク基盤技術に関する研究は、まだ十分世界の先駆けとなれる可能性のあるものである。しかし短期的な利益に直結する研究ではないため企業が手を出しにくい。そこで今後大きな発展が見込まれる基礎研究の一つとして国が手を差し伸べるべきである。ネットワーク分野に関して日本はセキュリティやロボスタネスの観点からも安全で安定であると定評である。その強みを伸ばしていくべきである。	新世代ネットワークは、光通信などを用いて今後新たに構築するネットワークの設計にもかかわる。もしこの分野で世界をいち早くリードすることができれば巨大なインフラを世界に提供できることになろう。世界的にネットワークの構造などの研究が盛んになる兆しがあるため、将来的な長い目で見た場合を考え、今力を入れるべきである。
4019	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	科学技術、およびそれを駆使できる人材は我が国の経済を支える「米」であり、そうした要素を今後とも発展、育成できる重厚な体制を整えるべきである。このような視点にたてば、本施策はすくなくとも現状維持、もしくは増額が望ましい。	いわゆる「失われた20年」で、企業における研究者の質も下がってきているという感覚がある。こうした状況は大学等における研究、教育をさらに発展させることによって乗り切るしかない。一方で、教員らは研究、教育体制を整えるための予算確保に多大なエネルギーを割いており、教育に専念できない状況にあると考えている。こうした状況を打破するため、競争的資金がより広く行き渡るよ

							うな施策を打つべきと考える。
4020	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	20～29歳	文部科学省	24122	革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ	このまま推進すべき	革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブはこのまま推進すべきです。
4021	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	60歳～	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	大学の研究予算として最も重要。拡充を求める。
							<p>具体性に欠け、魅力のない提案である。現在の日本の高等教育の価値を高める提案とは思えない。</p> <p>”世界をリードする大学において”，”世界を牽引するリーダーを養成する”とあるが、全く抽象的で何を目指しているのか分からない。”世界をリードする大学”とは、どの大学を指しているのか。”世界を牽引するリーダー”とは、現存するどのような人物を想定しているのか。</p> <p>”体系的なコースワークと研究指導”，”国内外の優秀な教員・学生を</p>

4022	その他	50～59歳	文部科学省	24012	博士課程教育リーディングプログラム	推進すべきではない	<p>国際的には通用しないかもしれない特殊な大学院プログラムを創設するというこの提案は、よく考えられたものとは思われない。このようなプログラムに貴重な税金を投入することには賛成できない。</p> <p>”卓越した専門性, 広範な知識, 豊かな教養, 国際性, リーダーシップ”とあるが, これらは個々人がそれぞれの職業生活を通して, 長い時間をかけて獲得してゆく資質である。また, 個々人がそのような職業生活に入ってゆくための準備は, 大学の一般教育から始まるのであって, 大学院のみで得られるものではない。高等教育の入り口である大学の一般教育課程から終着点である博士課程までを一貫した視野のもとで構成するものでなければ, 高等教育の質の向上は達成できない。事実, 欧米主要大学の大学・大学院プログラムは, そのような考え方のもとに構成されている。</p>
	大学・公的研究				感染症研究		<p>新興再興感染症が多発する地域は、アジア、アフリカなどの発展途上国に多い。先進諸国がこれら病気と病原体を研究するには、現地に共同研究施設をつくり、国際協力によってのみ可能となる。あらたな病原体があらわれると、病原が国境を無視して、あっという間に世界中に広がるのは、エイズ、SARSや新型インフルエンザの例を見てもあきらかである。しかし分離さ</p> <p>国際共同研究室を作って、それを維持するには、双方の努力と時間が必要である。10年、20年といった忍耐強い協力によって、はじめて可能であり、意味があ</p>

4023	機関 (独法・公設等)	60歳～	文部科学省	24132	国際ネットワーク推進プログラム	このまま推進すべき	れた病原体はめったなことでは国境をこえない。つまり新興感染症の病原体は現地でのみ研究解析ができる。そのため、米国CDC、フランスのパスツール研究所、イギリスのOxford Universityは現地研究機関と共同で、強力な研究室とそのネットワークを長い時間をかけて作っている。文部科学省の「感染症研究国際ネットワーク推進プログラム」はこのようなものを我が国においても実現しようとする試みである。	るものとなる。こうした持続的国際共同研究の生み出す成果は、アジアにおいてのみならず、世界中において、新興再興感染症の予防治療法の開発、流行予測の基礎となるはずである。以上がこの施策を推進すべき理由である。
4024	大学・公的研究機関 (独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24119	ナショナルバイオリソースプロジェクト	このまま推進すべき	本施策は国内外の研究者に活用されており、重要な資産である。このまま推進すべきである。	生物医学分野の科学研究において、実験材料が容易に入手できることはその基本的インフラである。科学分野の他の施策と異なり、実験材料のコレクションは維持することこそ意味があると考えられる。
4025	大学・公的研究機関 (独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24138	Bファクトリー加速器の高度化による新しい物理法則の探求	このまま推進すべき	加速器を用いた重要な基礎科学なので、推進してほしい。	基礎科学の中でも日本が世界をリードする分野である。関連分野への波及効果もある。
4026	大学・公的研究機関 (独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24143	大学院教育改革推進事業のうち、グローバルCOEプログラム	このまま推進すべき	大学院教育改革を掲げながらもGCOEプログラム予算を熟慮なくただ削減されるとすれば、政府及び官僚が国の将来を真剣に考えているとは思えません。高等教育の充実、科学技術創造は国の将来のための揺るぎない優先項目ではなかったのでしょうか？科学・技術関係予算の質の向上は単なる予算削減からは生まれ得ません。	高等教育の充実、科学技術創造は国の将来像の根幹に関わるものだと思います。海外での日本人及び日本に関するポジティブな評判は基礎教育が行き届いているということ、ハイテクが日常生活の隅々にまで行き渡っていることだと実際に耳にしてきました。このような基幹分野に国がより積極的に投資しない現状では夢も希望もない国だと思わざるおえません。
	大学・						世界での競争力を高めようとした場合に大切なのは特定の分野のスペシャリストを作り出すこ	日本の大学教育はまだまだ内向的であり、世界の大学と比べるとまだまだ評価が低い。そ

4027	公的研究機関 (独法・公設試等)	20～29歳	文部科学省	24143	大学院教育改革推進事業のうち、グローバルCOEプログラム	このまま推進すべき	とである。そういった教育のためにはやはり大学という教育機関が重要に感じる。多くの人が博士課程(後期)まで進学し、研究に集中できるような環境づくりをしていただけることを願います。	の研究レベルを向上させるためには、より多くの人材がよりよい環境で研究を行う必要がある。それを各大学が個別に環境整備を行うには限界があり、やはり国の力で底上げをはかることが重要だと思う。
4028	民間企業	50～59歳	総務省	20111	新世代ネットワーク基盤技術に関する研究開発	このまま推進すべき	新世代ネットワーク基盤技術は、わが国の発展の為に欠かせない最重要社会インフラであり、また、わが国の通信機器産業の発展に欠かせない技術であり、この技術予算は確保すべきと考える。	現在、米欧各国で、将来の社会インフラ基盤整備に向け新世代ネットワークの研究開発が活発に推進されている。そうした中、ネットワークセキュリティの格段なる向上およびネットワークの超省電力化を目指した本研究開発は非常に重要な国家的科学技術研究開発戦略である。
4029	大学・公的研究機関 (独法・公設試等)	20～29歳	文部科学省	24143	大学院教育改革推進事業のうち、グローバルCOEプログラム	このまま推進すべき	このまま推進すべきである。	研究者になるには、当該分野の研究に関する知識、研究を進める上でのさまざまなスキルを身につけなくてはならない。また国際学会に出席するなど、世界レベルでの活動を視野に入れる必要がある。GCOEによる支援がなければ、学生がこれらの課題をクリアすることはきわめて困難になるだろう。従って、我が国の研究レベルを高く維持する上で、GCOEはきわめて有効かつ重要である。
4030	大学・公的研究機関 (独法・公設試等)	50～59歳	文部科学省	24138	Bファクトリー加速器の高度化による新しい物理法則の探求	このまま推進すべき	KEKBは電子・陽電子型加速器として世界最高の性能をもち、日本が素粒子物理学で世界をリードするために必要不可欠な施設です。これまで世界をリードする実験結果を得てきましたが、更なる発展が期待されています。国際協力の観点から、また若手研究者育成にとってもKEKB計画を推進する	KEKBはこれまで、主にCPの物理に貢献してきましたが、ハドロン物理学においてもチャームクォークを含むエキゾチックハドロンが発見に寄与しています。これから、エキゾチックハドロンを確定し、それらの内部構造に踏み込むためにはKEKBの推進が必要です。



							ことは重要です。	
4031	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24154	研究者の養成(海外特別研究員、若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラム)	このまま推進すべき	若手研究者が海外で武者修行して研鑽を積むことは、高いレベルの研究者を養成するにあたって大変重要な契機となる。若手有志を選抜し、自らの研究計画に基づく2年間の研究実施を支援する海外特別研究員、及び大学院同士の連携を通じ、若手研究者が一定期間海外で研究実施するのを支援する若手研究者インターナショナルトレーニングプログラム、双方が重層的に機能することが、若手研究者の養成にとって実効性のある体制である。	選抜された有志の若手研究者が、自らの研究計画に基づき、自らの予算を持って、海外での研究を実施することは、その研究の客観的な意義が、英語での発表説明能力と共に問われる機会となると共に、研究者自身に、独立した研究室主催者になる為に求められる資質を意識させ、必要な能力を高める絶好の機会となる。また、国際的な人脈を構築し、世界的な視野で研究動向を把握し研究を展開していく契機となると共に、多様な世界のあり方について地に足の着いた視点が得られる。
4032	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	40～49歳	文部科学省	24119	ナショナルバイオリソースプロジェクト	このまま推進すべき	日本が世界に誇る発酵技術を支えるための基盤的な役割を担っており、このまま推進すべき。新たな技術開発のためには、微生物の提供などの基盤技術が必要不可欠である。	特にバイオエタノール生産において高いポテンシャルを有する酵母が使用されるが、バイオマスの糖化および発酵において、酵母を更に改良する必要がある。本プロジェクトはその基盤となる株およびプラスミドを提供する機関であるため、利用者としてはこのまま来年以降も継続してくれることを強く望む。
4033	民間企業	40～49歳	経済産業省	27121	太陽光発電システム次世代高性能技術の開発	このまま推進すべき	将来の日本の太陽光発電技術の基盤となる事業であり大いに推進して欲しい。ただし選択と集中は必要であり、若干多岐にわたっている点は充分審議すべきである。	研究者のための事業という視点でなく、将来の日本の競争力強化に資する視点で事業を考えていくべきであるから。
4034	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	50～59歳	文部科学省	24138	Bファクトリー加速器の高度化による新しい物理法則の探求	このまま推進すべき		Bファクトリーは、我が国の加速器科学の基盤施設を活用して、小林／益川理論の検証に貢献し、その成果は世界的に評価されてノーベル賞受賞に大きく貢献した。既存の研究施設を一段とレベルアップすることによって、未知の領域を探索する本施策の

							意義は大きく、新たな物理現象の発見が期待される。
4035	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	50～59歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	科学研究費補助金は、我が国の基礎研究を推進するために最も有効な施策であり、一層の拡充を図るべきである。
4036	民間企業	40～49歳	経済産業省	27108	低炭素社会を実現する超低電力デバイスプロジェクト	このまま推進すべき	研究開発の更なる加速に期待
4037	民間企業	40～49歳	経済産業省	27159	省エネルギー革新技术開発事業	このまま推進すべき	温室効果ガス排出量の低減に相応しい事業であり、積極的に進めて欲しい。
4038	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	50～59歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	科学研究のための基盤的経費であり、絶対不可欠である。
4039	民間企業	40～49歳	文部科学省	24187	産学イノベーション加速事業【戦略的イノベーション創出推進】	このまま推進すべき	イノベーションの創出・促進に相応しい事業であり、積極的に進めて欲しい。
							今後達成しなければならない低炭素社会の実現において、エレクトロニクス製品の飛躍的な低消費電力化は必須の技術と考える。確実な成果創出へ向け、加速を期待する。
							革新的な省エネルギー技術について、基礎から実用化に至るまで、各ステージで適切な取組みがなされている。また、省エネルギー技術は我が国の強みを活かすものであり、基礎から実用化まで積極的に投資すべきである。
							特に、基盤研究については、競争原理のもと、適正な審査が行われているようである。
							大学等の研究成果と実用化との谷を埋める重要な事業であり、研究開発段階から研究成果の実用化を念頭に置いた取組みがなされている。また、産学連携による研究開発チームを構成しつつも、最長10年度の中長期的計画の下

								で実施しており、ターゲットも明確である。
4040	その他	50～59歳	文部科学省	24141	特別研究員事業	改善・見直しをした上で推進すべき	日本の若手研究者に経済的不安を与えることなく研究に専念できる支援がなされておらず、授業料、年金、保険税等の減免、免除も考慮された上で、さらなる支援が必要である。	優秀な日本の研究者が経済的に自立しているとはいいがたく、まして、結婚もままならない現状に日本の将来はどうなるのか大変危惧している。
4041	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24143	大学院教育改革推進事業のうち、グローバルCOEプログラム	このまま推進すべき	世界と伍する競争力を有する大学づくりのため、グローバルCOEプログラムの継続・推進を要望する。「継続は力なり」の言葉どおり、グローバルCOEプログラムで、これまでに優秀な研究実績をあげ、高度な施設を整備・活用して、次世代を真に担うことができる博士を育成する体系が構築されているのだから、これを継続・発展させなければ、我が国の競争力を低下させることになる。	国際的に第一級の力量を持つ研究者等を育成するには、長期の安定した教育研究投資が不可欠である。グローバルCOEプログラムで国際的に卓越した教育研究拠点を形成でき、優秀な人財を育成する教育研究環境も、予算の継続がなされなければ維持できず、人財面における国力の低下に繋がる。これが、グローバルCOEプログラムを継続・推進すべき利用である。
4042	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24119	ナショナルバイオリソースプロジェクト	このまま推進すべき	ナショナルバイオリソース事業は我が国が発展する上で必要不可欠な事業であり、このまま推進すべきである。	バイオ分野はその重要性が年々増している分野でありながら我が国では欧米諸国に比べ研究が遅れている。菌株やプラスミドなど研究に必要なリソースが国内で迅速に入手可能であることは、研究のスピードを上げる上で非常に重要であり、我が国のバイオ分野の発展には不可欠であると考える。
4043	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24143	大学院教育改革推進事業のうち、グローバルCOEプログラム	このまま推進すべき	現在、大学教育課程では世界で活躍するだけの実力をもつ人材を教育できていないと思う。将来広く活躍するための専門的な知識や技術を付けるには大学院での研究が大切であり、そのための教育改革推進事業はこのまま推進すべきだと思う。	今現在の予算を削って、一時的に予算が削減できたとしても、結局、国際的に卓越した教育研究拠点を形成する取組を支援しなければ将来的に日本に入ってくるお金は減ってしまうだろうから。
							ナノテクノロジーは、世界的課題である省エネルギー・環境保全を支える先端材料あるいは	ナノテクノロジーの進展には、研究施設、設備、人員の面で、ただひとつの研究機関のみでは

4044	民間企業	50～59歳	文部科学省	24180	ナノテクノロジー・ネットワーク	このまま推進すべき	先端デバイスの創製技術として、欧米はもちろんのこと、アジアでも韓国、中国、台湾等でもそれぞれの国を挙げてその進展に尽力している。将来も技術立国として日本が発展していくのに、わが国のナノテクノロジーの進展が遅れることは許されない。本施策は国内の先端的な研究施設、設備の共用と研究者の戦略的・効率的交流に寄与するものであり、ナノテクノロジーの進展には本施策を推進すべきである。	十分な進展が望めない。先端的な研究施設、設備を共有でき、研究者も産官学で交流・情報交換を十分行うことができることが、最先端技術であるナノテクノロジーの進展には不可欠である。本施策はこの条件に一致した施策であり、本施策の継続的实施によって、そこから生まれる成果が技術や産業のイノベーションにつながる。このような理由により、本施策は実施すべきであると考えられる。
4045	公益法人	50～59歳	文部科学省	24187	産学イノベーション加速事業【戦略的イノベーション創出推進】	このまま推進すべき	基礎研究の重要な成果を新産業創出に結びつけるため、産学研究者チームに長期的な研究開発の環境を与えるという、文科省や経産省の従来の研究開発プロジェクトとは異なるユニークな施策である。イノベーションの創出による我が国の産業競争力の強化につながる重要な施策であると考えられることから、予算の先細りがないように強力に推進すべきである。	近年、文科省を中心とする大学の基礎研究に対する施策により、大学では多くの重要な成果が生まれている。一方、我が国の経済環境の厳しさから、企業は短期間に利益の出る研究開発に大きくシフトしており、これらの重要なイノベーションの芽を育てることができない。本施策は、基礎研究成果を実用化につなぐ過程で資金が不足している現状の問題点を解決しようとするものであり、我が国の長期的な産業競争力強化の観点から大きな意義をもつ。
4046	民間企業	30～39歳	経済産業省	27149	ゲノム創薬加速化支援バイオ基盤技術開発	このまま推進すべき	これまで分子動力学とかin silicoスクリーニングは敷居の高いもののように感じていたが、フリーでこの様なプログラム群が提供される事は研究者、学生にとって、非常に有意義なものと考えている。本施策の様に化学技術を発展させる様なプロジェクトはぜひ推進させて欲しい。	自分自身が学生時代に計算化学を専攻したため、分子動力学には非常に興味を持っている。このようなプログラムを使用する事、理解する事は、化学面からもシステム面からも、知識を吸収する源泉となりうる。この様なプログラムが公開されることにより、理系の学生レベルの向上を期待している。
	大学・公的						課題解決に衛星データを使うための解析技術・利用実証の橋渡しなどを行うとともに人材育成が大切である。このた	蓄積された過去データ

4047	研究機関 (独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24169	我が国の宇宙技術の世界展開	このまま推進すべき	めに、既存のTRMMやMODISなどのデータを使った利用可能性なども示し、商業用のサンプルがみせられるような作業とDIASへの投入などもあわせて進めるべきである。	などとの比較や解析技術の技術移転などを進めていく必要があるため。
4048	大学・公的研究機関 (独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24012	博士課程教育リーディングプログラム	このまま推進すべき	『博士課程教育リーディングプログラム』に賛成する。『新たな成長分野で世界を牽引するリーダーを養成するため、高度な教育研究基盤を有し世界をリードする大学における、卓越した大学院教育に関する取組を、産学官のオールジャパン体制で強力に支援』(施策の目的及び概要より抜粋)をグローバルCOEなどの大型国家プロジェクトの経験が豊富で、しかも研究成果、国際連携などの実績を達成している総合大学において実施することは極めて重要である。	資源の乏しいわが国の成長は、技術力の向上に大きく依存する。少子高齢化社会に向かっていくこれからの時代に求められるのは人間支援技術の向上である。人間支援技術とは、社会を構成する各個人の身体性や価値観に合わせるアクセス空間を提供するテーラーメイド技術のことである。テーラーメイド技術はこれまでの産業が求めてきた、経済成長が著しい東アジア諸国が得意とする大量生産によるものづくりとは異なる新しい技術である。この人間支援技術の向上には、『博士課程教育リーディングプログラム』が掲げる人材育成が有効である。
4049	大学・公的研究機関 (独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	推進すべきである。	限られた国土・資源しか有しない我が国にとって、基礎科学の充実が国力の中長期的維持・向上の鍵となる。
4050	民間企業	50～59歳	文部科学省	24180	ナノテクノロジー・ネットワーク	このまま推進すべき	本施策のような高度な設備・機器の共用推進は是非継続すべきと考えます。	当社はプローブカードの開発ベンチャーですが、本施策を利用し、ナノオーダーの計測技術を当社技術に適用したことにより、従来他社にない新規技術を保有することが可能となった。経営資源を補う有効な施策であると考えます。
4051	大学・公的研究機関 (独	40～49歳	文部科学	24149	国立大学法人等施設の	このまま推進す	施設整備を一層推進すべき	耐震工事が一息つき、ようやく独自色がだせる

	法・公設等)	省		整備 継続	べき		ので。	
4052	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	40～49歳	文部科学省	24134	戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発事業を含む)	改善・見直しをした上で推進すべき	ITの発展とともに大量データが、ほとんどの科学技術分野において得られるようになってきているが、大規模データから本質的な情報を抽出することは容易なことではない。データ処理のための最先端技術を開発する統計科学の発展が、諸分野の研究を推進するためのインフラ整備として重要になっている。金融における高頻度データや、ポストゲノムにおける統計的方法、高次元モデルからの情報抽出加工のための普遍的な道具となっている統計的機械学習など、大量データからエビデンスに基づき発見をもたらす方法論を与える統計科学分野の推進が、データが存在するあらゆる科学技術分野の発展のために強く望まれる。	現在の振興策はこの意味で十分ではない。応用数学振興の機運はあるが、旧来の一部応用数学分野に限られており、第3千年紀の数学と呼ばれる確率統計学の振興には至っていない。科学技術全体の底上げには、大局的な視点が必要で、データを扱うリテラシーとしての統計科学の振興が急務である。検索エンジンにおける統計的方法の応用が良い例であるが、統計科学方法論は意識されなくとも至る所に用いられており、その発展による波及効果は計り知れない。
4053	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	50～59歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	科学研究費補助金は大学の研究者の研究活動の生命線であり、とりわけバイオや環境、エネルギーといった重点プロジェクト研究になじまない、基礎研究やアカデミックな研究に関わる研究者は、他の研究資金を得るのは難しく、文字通り生命線である。削減は日本の研究水準を大きく下げることになり、反対する。	芸術や基礎科学は、国民に世界観を提示し、国民を物質的な面ではなく心の面で支える。目の前の物質的な豊かさの追求はもちろん重要であるが、心の豊かさも追求することも必要。
4054	大学・公的研究機関(独法・公設試)	50～59歳	文部科学省	24180	ナノテクノロジーネットワーク	このまま推進すべき	ナノテクノロジーの先端的な施設・機器の共用の推進および異分野が融合した研究開発活動の推進を進める事業の継続をお願いします。特に、この機器の共同利	ナノテクノロジー分野の先端的な機器である阪大超高压電子顕微鏡を利用して、現在、植物分野、特に植物の生殖分野の研究を進めている。この超高压電顕を利用した3次元電子線トモグラフィーという研究手法を取り入れることで、新たな研究が展開

	等)						用をサポートする人材の育成と雇用も併せてお願いします。	しつつある。今後も、当該分野の研究を推進するために、ナノテクノロジーネットワーク事業を継続して頂きたい。
4055	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	40～49歳	文部科学省	24114	地球環境予測・統合解析に向けた衛星観測データの高度化	このまま推進すべき	データを気候変動などで利用するためには継続的な観測、データ解析および再処理が必要である。さらにそのような作業および品質保証のための作業を続けるべきである。	継続的なデータセットを気候変動に使えるようにするため。
4056	公益法人	60歳～	厚生労働省	25103	臨床応用基盤研究(医療技術実用化総合研究)難病・がん等の疾患分野の医療の実用化研究の一部(臨床研究関連研究分野)	このまま推進すべき	日本の臨床研究実施体制の整備は鋭意行われてきているが、未だ不十分である。十分な予算を投じてスピード感を持って実施体制を整備すべきである。特に、日本が世界に先駆けて新薬を開発していくためには、開発初期にその有用性を証明する早期・探索的臨床試験の実施体制整備が急務である。	・我が国の新薬開発推進は、国民の最新医療へのアクセスや安全・安心確保のみならず、我が国の国際競争力強化の観点からも重要であり、これらを具体的に実現化するために重要な施策である。 ・新成長戦略の創薬、医療機器、介護機器開発の促進に掲げられている事項であり、その実現のために必須の重要施策である。
4057	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	40～49歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	改善・見直しをした上で推進すべき	科学研究費補助金は我が国の基礎研究を支える最も重要な基盤である。ある一部だけに無駄なお金が行かないように配慮したうえでの推進をお願いしたい。	現時点で重要な分野に重点的にお金が配分されることは当然であるが、そのような明確な理由が無い場合でも重点配分が行われているのが現状である。お金が有効に使われていない以上は、そのような無駄金の存在を認め、将来的に必要な研究にもお金が回るように増額、拡充したうえでの事業推進が必須である。
4058	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	40～49歳	文部科学省	24119	ナショナルバイオリソースプロジェクト	このまま推進すべき	ナショナルバイオリソースプロジェクトについては、現在よりもさらに推進すべきである。特に原核生物に対する遺伝子資源の整備については、強力に推進する必要がある。	この事業の推進により、生物や遺伝子の利用を国際的に優位に進めることができるため、事業推進は国益に適っている。特に原核生物は最も基礎的な生物でありかつ医薬品の開発など応用範囲も広いいため、強く推進すべきと考える。
							自然科学系の研究分野	現在、30代の若手研究

4059	大学・ 公的研究 機関（独 法・公 設等）	30～ 39歳	文部 科学 省	24008	テニュアトラ ック普及・定 着事業	このまま 推進す べき	において、若手研究者 が自立して研究できる 環境の整備を促進する ため、テニュアトラック 制により自立した研究 者としての経験を積む ことができる仕組みを 定着させることは必須 である。本政策により若 手のテニュアトラック教 員の数が増加されるこ とにより若手研究者の 自立的な研究の促進さ れ自然科学研究のブレ ークスルーが数多く産 み出されることが期待 される。	者が自立して研究を続 けるのが困難な状況に なっている。このような 状況のもとでは、国際 的な競争力のある研究 者を育てることは困難 であり優秀な人材が海 外に流出してまう恐れ もある。従って、自立と 活躍の機会を与える環 境の整備がこれまで十 分に行われてこなかった 現状は大きな損失を産 んでいることが懸念さ れ、早急に改善される べきである。
4060	大学・ 公的研究 機関（独 法・公 設等）	40～ 49歳	内閣 府	13101	沖縄科学技 術大学院大 学の開学準 備	改善・見 直しをし た上で推 進すべき	沖縄に科学技術の新拠 点を作り沖縄振興を目 指すという趣旨・理念は 理解できるが、計画全 体として施設整備より も、なによりそこを中核 として何を行うのか、質 の高い学生教育・外国 人講師の定住を確実に できるような内容を大幅 に見直しは如何かと考 える。まずは小さくても できるだけ質を高め、は じめは分野を絞りアジア の新拠点としてきちんと 成育できる環境作りか らじっくりとはじめるよ うに、確実に小さく産ん で大きく育てる、育たな ければ途中でさらに分 野を絞り込むというよ うに大幅に見直しをし て頂ければと考える。	施設の整備を優先する よりも、研究・学習内 容やソフト面での充実、 特に高名な講師やアジア からの優秀な学生が定 住する環境が確実にな ってから進めないとな らずに、沖縄にとつ ても振興ではなく失敗 例となってしまう恐れ がある。はじめは小さ い規模に絞り込み、質 を高めてよい例を作っ てから大きく育てるこ とをしないと空洞化す る懸念があることを心 配する。もしこれが杞 憂であるということ であればそれを一般社 会にもっと明確に説 明すべきだと考える。 先端の研究は建てや などの施設よりも装 置を自分たちで工夫 して考え研究する人 の集積効果の方が大 きい。小さい施設で更 に分野を絞ってはじ める方が質が高まると 考える。
4061	民間 企業	40～ 49歳	経済 産業 省	27005	グリーン・サ ステイナブル ケミカルプロ セス基盤技 術開発（化学 品原料の転 換・多様化を 可能とする革 新グリーン技 術の開発）	このまま 推進す べき	日本は石油資源を外国 に依存しており、石油 原料を代替する技術の 開発の重要度は高いと 思います。	微生物産生ポリマーは 非常にユニークな技術 であり、高機能材料を 開発することができれ ば今後非常に広がり のある技術と考えます。



4062	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24159	地球内部ダイナミクス研究	このまま推進すべき	極めて重要な施策であり、公正で透明なプロセスで受けた進捗評価を踏まえつつ積極的に推進すべき。	疲弊化している大学でカバーしきれない基礎的観測研究を含めて広汎な課題に果敢に挑戦しているので、国際的に遅れを取らないためにもたゆまず進めなくてはならない。
4063	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	改善・見直しをした上で推進すべき	科学研究費補助金は、大学等の研究者の自由な発想に基づく研究とされ、その成果が実用化し、最終的には、国民生活の向上・持続的な経済の発展に繋がる。現在の研究種目では、国際的に評価の高い研究の推進に目標を置いているが「元気な日本復活特別枠」の中に地域社会に密着し、地域社会に貢献できる研究種目の新規設置についてもお願いしたい。	地方の大学においては、地域社会及び国際社会に貢献しうる人材育成と学問研究の充実・発展を推進することとしており、地域社会に密着し、地域社会に貢献できる大学を目指しているため上記の研究種目が新規設置された場合、地方大学の活性化、強いては地域社会への貢献ができ、更には、国民の期待に応える科学・技術予算の実現に期すものと考えられる。また、総合科学技術会議における「基本的考え方」に合致している。
4064	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24140	RIBビームファクトリー計画の推進	このまま推進すべき	Opinion: RIBF (RIKEN) is now the first of a proposed new generation of radioactive beams facilities to be operational, with expected beam intensities that will make it one of the most competitive, scientifically, for the next 10 years or more. The science base and researchers at RIBF are highly internationally competitive and the new results from the facility are of wide international interest – and will lead to fundamental discoveries in nuclear science and a world class training environment for doctors students.	Reasoning: My comments are made as a Professor of Nuclear Physics in the UK with much experience of overlap with Japanese nuclear physics and with other international centres. Japanese physicists were instrumental in the development of the field of study of exotic nuclei that is the role of the RIBF. The facility is now set to make scientific discoveries in this international-competitive area and to train a generation of young Japanese scientists on a world class facility.

4065	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24143	グローバルCOEプログラム	このまま推進すべき	GCOEプログラムは、優秀な大学院生を育て、将来のリーダーにすることは、資源小国の我が国にとって、絶対不可欠の制度である。	本プログラムは、単に大学院生の研究と生活の支えとしてのみならず、彼らがTAとして働いている現状から、学部学生の教育にも極めて重要な役割を果たしている。自民党議員の中には、「不公平」という声もあるようだが、今や本当に育てるべき優秀な人材は少なく、そういう呑気なことを言っている状況ではない。
4066	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24113	地球観測衛星網の構築	このまま推進すべき	GCOM-Cの利用を促進するために、MODISやADEOS-2などのデータ解析なども続け、DIASなどでの総合利用を進めるために、既存衛星のデータの無償化およびアクセスの改善のためのアーカイブの向上、ナショナルアーカイブづくりもすすめるべきである	データの利用を促進するためにデータポリシーを国際スタンダードにあわせるべきであり、ALOSレベルの精度のものを有償にする方針は利用を阻害するものである。
4067	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24185	研究成果最適展開支援事業	このまま推進すべき	続けて推進すべきである。	現状は世界的にコスト競争が激しいので、新たな技術開発を行い、市場を切り開く必要があるが、企業では体力がなく大学等が持つシーズを実用化したくても出来ない状態にあるから。
4068	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24143	グローバルCOEプログラム	このまま推進すべき	グローバルCOEプログラム等の科学技術振興費を削減しないでください。また、これらの事業に振り分けられる予算	現在私はグローバルCOE-RAにより援助を受けています。そのお金は大学の学資と生活費に当てています。それがなくなってしまうと収入を得るために働かなければなりません。これによって研究の時間が割かれることは非常に大きなデメリットになります。研究は勉強と違い、要領よくやるのが全てではないからです。お金や時間の余裕は研究にとって非常に大切なものです。しかし、一方で助成費の使い方に疑問を感じることがあります。それは、研究費として割り当てられた予算

	設試等)					の使い方が検討されることを望みます。	を満額使わなければならないという制約です。予算を1円の過不足なく使うということはナンセンスだと思います。必要なものは買わせて欲しいと思いますが、必要でないものを1円単位で買って帳尻を合わせることは非常に無駄ではないでしょうか。このような無駄を省けるところは省いてください、そして省かせてください。このような無駄が必要な部分へ還元されることを望んでいます。	
4069	公益法人	50～59歳	文部科学省	24119	ナショナルバイオリソースプロジェクト	このまま推進すべき	<p>ナショナルバイオリソースプロジェクトに関して</p> <p>我々酵母を材料に研究しているものにとって、ナショナルバイオリソースにより保存、分与される、酵母株、プラスミドDNAはなくてはならないものです。私自身、年あたり数回は最低利用させていただいております。株、プラスミドが定価、ほとんど郵便料で提供されるのも大きな利点です。私は英国に滞在して研究室を運営していますが、日本国内のみならず、海外の研究者も幅広くナショナルバイオリソースの恩恵にあやかっています。</p> <p>是非ナショナルバイオリソースプロジェクトの存続お願いいたします。</p>	上記したように、我々研究者にとってナショナルバイオリソースプロジェクトは大切な機関です。
4070	大学・公的研究機関(独)	40～49歳	文部科学	24133	科学研究費補助金	このまま推進す	<p>科学研究費補助金の一層の拡充と若手研究に対する採択率の向上を求めます。また科学研究費補助金は、研究者の自由な発想に基づく</p>	科学研究費補助金は、学術研究(Science)の根幹であり、枝葉に滞るのではなく、この柱を大きくそして太くすることが、日本の学術研究の発展に対して極めて重要であることは間違いありません。また、これから実績を積もうとする若手研究者、とくに基礎科学を行う若手研究者

	法・公設等)		省			べき	研究に助成する競争的資金であるため、短期で具体的な応用成果を求める評価に滞らないことを希望します。	においては、科学研究費補助金の若手研究は、ステップアップを行う重要な機会になります。しかし3割以下の採択率では、多くの若手研究者は、そのような機会を与えられないまま研究を進めることになり、より一層の拡充を求めます。
4071	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24122	革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ	このまま推進すべき	私は、大学において微生物酵素を利用した有用物質生産の研究を進めてきた。微生物酵素ももちろんタンパク質であり、その機能を解明することは物づくりの場においても非常に重要な研究である。最近は医学分野への研究費投資が大きいですが、国の基幹産業となる物づくりの基礎となる分野への研究費割り当ても進めてほしい。その意味で、本研究プロジェクトは重要と考える。	タンパク質は生体にとって最も重要な物質であることは言うまでもないが、これを対象とした研究の中でも構造解析と機能解析をセットにした研究は珍しい。特に、機能解析において、何か社会の役に立つような出口の見えるタンパク質を研究していくことはこれからの方向性として間違っていない。単なる構造解析だけではない研究プロジェクトとして、さらに推進してほしい。
4072	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24143	大学院教育改革推進事業のうち、グローバルCOEプログラム	このまま推進すべき	大学院の基盤の充実には、日本の大学の国際的競争力獲得のために必要。科学は少数の天才だけで進むものではないので、科学の発展ためにはなるべく広い範囲に予算が行き渡るようにすべき。一方で、全ての大学院の基盤を充実させるだけの予算がないことも事実なので、140拠点への支援というのは現状において妥当なものだと考える。したがって、予算削減に反対する。	このプログラムはバイオや環境、エネルギーといった重点分野に限らず、文系から基礎科学の分野まで支援している。芸術や基礎科学は、国民に世界観を提示し、国民を物質的な面ではなく心の面で支える。目の前の物質的な豊かさの追求はもちろん重要であるが、心の豊かさを追求することも必要。
4073	大学・公的研究機関	40～	文部科学省	24133	科学研究費	このまま推進す	日本の将来の発展のためには、引き続き科学・技術に対する基礎研究への投資が必要不可欠である。民間企業はすぐに実用化結びつく研究への投資は行っても、先の見通しや応用がはっきりしないものへの投資には消極的である。数学の整数論はか	法人化後、大学への運営交付金は年々減少の一途を辿っており、特に地方大学の置かれている状況は厳しいものがある。大学から支給される基盤研究費も減少傾向にあり、基盤研究費のみ

	(独 法・公 設試 等)	49歳	省		補助金	べき	つて純粋数学の最たるもので、実生活への応用とは無縁なものと考えられていたが、今や暗号には欠かせないものとなっている。これは一見実用とは無関係と思われる基礎研究の重要性を示すよい例である。	で研究活動を行っていくことは非常に厳しい。企業からの受託研究とは無縁の分野の研究者にとっては、科学研究費補助金があつてようやく十分な研究活動を行うことができる状況にあるので。
4074	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・公 設試 等)	60歳 ～	文部 科学 省	24159	地球内部ダ イナミクス研 究	このまま 推進す べき	地球の動態を理解するうえで、頻発する地震と活潑な火山噴火で特徴づけられる環太平洋変動帯の研究は必須である。なかでも、日本列島を中心とする西太平洋一帯は、もっとも重要な拠点として国際的に注目されている。豊富な観測データに裏づけられて展開される日本主導の研究は、ダイナミックな地球の営みや地球環境の変動のリズムを明らかにし、さらに地球規模のハザードの未来予測にも大きく貢献するに違いない。	本施策は我が国にとって最適のテーマであり、国際的には地球深部探査船「ちきゅう」や潜水艇を擁する海洋研究開発機構が中心となって進めることが期待されている。技術革新をとともなう精緻な観測の継続と数値モデルの開発や、掘削試料の収集・キュレーティング・科学的解析などを考えると、効果的かつ効率的な研究の展開は、海洋研究開発機構において他にはみあたらない。
4075	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・公 設試 等)	30～ 39歳	内閣 府	13101	沖縄科学技 術大学院大 学の開学準 備	このまま 推進す べき	今以上にこのプロジェクトが推進することを願っています。沖縄の科学技術大学院大学は、国家の一大プロジェクトだったのではないのでしょうか。このプロジェクトに限らず、日本の科学技術が全体的にトーンダウンしてしまった感があります。どのような研究分野であれ、研究に序列はないでしょうが、首位を目指して頑張りたいと思います。そして日本が誇れる大学になることを期待しています。	研究大学は、人材育成を行う基盤であり、過去の道路などのインフラ整備以上に競争優位を生み出す源泉であると思います。そして、その研究大学が、優秀な人材そして企業を惹きつけ、社会基盤を形成していくのだと思います。沖縄科学技術大学院大学のみならず、周辺地域そして、沖縄の経済発展ひいては世界をリードする大学院大学になることを期待しています。
4076	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・公 設試 等)	50～ 59歳	文部 科学 省	24121	脳科学研究 戦略推進プ ログラム	このまま 推進す べき	脳科学研究に寄せられる社会からの期待の高まりにこたえつつ、脳科学が長期的な展望のもとで持続的な発展を遂げるためには本プログラムを推進することが極めて重要である。	脳は、人間が人間らしく生きるための根幹をなす「心」の基盤であるとともに、身体を統合的に制御する機能を有する。脳科学研究は、現代社会が直面する様々な課題の克服に向けて、社会からの期待や

							関心が極めて大きい。
4077	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	40～49歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	<p>科研費のような基盤的研究を支える公的補助金は、このような経済事情にあつて、増加させることはあつても決して減額されるべきものではない。加えてその採択率が20%前後という低率ではなく、せめて40%くらいに増やさない限り、科研費といえども結局は限られた組織・研究者にしか回らない結果になってしまう。</p> <p>財政が厳しい時に、科研費の「選択と集中」をすることは、短期的にはよさそうに見えるが、長期的には衰退を来たすと思われる。なぜなら科学的発想や着想は、裾野が広ければ広いほどオリジナルなものが出現する確率が高いからである。諸外国と比べた場合、日本の科学論文数が数は増えたものの、その質が低下してきているという点は近年指摘されかつ報道されているところである。過去10年来の大学TOP30・COEなど非常に多くの選択と集中が科学研究費になされたものの、その結果が日本全体で見た場合成果が芳しくないという現実をどう解釈するべきであろうか。組織当たりの研究論文数が100%のところを110%に増やすことよりも、日のあたらぬ地方や小規模組織が、各々20-30%論文数を増やした方がはるかに基盤研究の底上げになるかと思うからである。</p>
4078	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	40～49歳	文部科学省	24143	大学院教育改革推進事業のうち、グローバルCOEプログラム	このまま推進すべき	<p>このプログラムの重要な役割の一つは世界的に活躍できるリーダーシップを持った博士レベルの人材を、最先端の研究を通じて育てることである。実際にGCOEに選ばれた拠点研究所での活動によって多くの優秀な博士学生が育てられている。今後もこの事業を続け、日本が常に世界の最先端を走れるようにしていただきたい。</p> <p>トップレベルの博士学生の教育で非常に重要な役割を果たしてきた。日本が世界のトップランナーであるために、先端的な国際的にリーダーシップを持った学生を育てることは非常に重要である。日本の将来のために必要である</p>
							<p>製油所の水素製造装置で製造される水素の純度は不十分であり、燃料電池等に供給するには99.99%にまで高める必要がある。これ</p>

4079	大学・公的研究機関(独法・公設等)	60歳～	経済産業省	27024	高効率水素製造等技術開発	このまま推進すべき	は非常に重要性である。現実的に、水素を大量に製造・供給するにあたっては、既存設備の有効活用が社会的負荷を下げるものとなる。石油精製工程での水素製造プロセスを効率化し、一般社会への水素供給に活用するという本件の着眼は、経済合理性にも適うものとして、時宜を得た優れた施策であると言える。	を、既存技術の組み合わせで行えば、水素回収率、エネルギー利用効率とも非常に低いものとなるため、膜分離技術を組み合わせる本施策の成果への期待は非常に大きいものがある。特に、膜分離技術を水素製造工程のコア部分に組み込む発想は極めて先端的であり、石油の高度利用の観点からも重要性は特筆される。
4080	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24181	イノベーションシステム整備事業	このまま推進すべき	予算を減らさず推進すべきである。	この研究は4年目になりますが、事業化が近いものも多くあります。ここで、予算を減らされたり、打ち切られたら、事業化計画を立てていた企業にとって大変な損害になります。
4081	その他	50～59歳	文部科学省	24125	免疫・アレルギー科学総合研究事業	このまま推進すべき	免疫・アレルギーの研究にもっと力を入れて進めて欲しいです。	私の夫も、息子もアレルギー体質です。新聞に免疫・アレルギーの記事が出ると気になり読みますが、私たちが生きている間に大きな研究成果が出るのか心配になります。理研の研究者の方々が研究に専念できるような予算配分をお願いしたいです。
4082	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	幅広い分野の基礎研究に門戸を開いている貴重な施策なので拡張して推進すべきだと思います。特定のテーマに絞った大型つぎ込みよりも、個々の研究を拾うことも大切です。	国は営利団体ではないので、目先の利益を追求することなく、100年、200年先にも生きる研究、また、純粋に知識を求め基礎研究をおろそかにしてはいけなさと考えるから。
	大学・公的研究機関	60歳	文部		科学研究費補助金(継	改善・見直しをし	基金を細切れにして分け与える現在の方式を見直す時期に来ている。	運営交付金は、食生活に例えるなら主食に当たる。競争的資金はデザートのようなもので、当たれば、食卓は一気に豊になる。しかし、それは、主食が十分足りた上での話であって、分野によっては主食を削って、その一方で隣のテーブルでは余る程のデザートを食べている。カロリーベ

4083	(独 法・公 設試 等)	～	科学 省	24133	続)など、本 項目全般に 対しての意見	た上で推 進すべき	本来、土台となるべき運 営交付金を削って、代 わって、競争的資金を 与える現在の方式に も、限界が来ている。	一スで見れば、栄養は 足りているのだろうが、 明らかにおかしい。 無駄、無駄、といいな がら、主食を削ってデザ ートを勧める姿は、寓話 「裸の王様」を連想させ る。土台が細るときは、 「済まないがこれしか出 せない」と謝るべきで は。無駄を削ってケー キを食べる話は、気分 が悪い。
4084	民間 企業	40～ 49歳	総務 省	20102	超高速光エッ ジノード技術 の研究開発	このまま 推進す べき	光通信産業は日本の基 幹産業として最も重要 です。日本の成長産業 だと思います。光通信 産業の研究開発を強力 に推進すべきだと思い ます。	日本の光ファイバーサ ービスは、世界のトップ クラスです。この地位を 維持することは、日本の 国際競争力を考えると とても重要なことだと思 います。光通信産業は すべての産業の基盤に なるものです。今まで伸 びてき自動車産業は 今大変な状態です。どう 新しい成長産業と思わ れるこの分野は非常に 日本にとって大切だ と思います。強力に推進 お願い致します。
4085	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・公 設試 等)	50～ 59歳	文部 科学 省	24133	科学研究費 補助金	このまま 推進す べき	このまま推進すべきで あり、予算増額も必要 である。	未来への国力、対外的 な国力を培うには教育 と研究の活動が必須で あり、科学研究費補助 金は後者の根幹をなす ものである。
4086	民間 企業	40～ 49歳	総務 省	20102	超高速光エッ ジノード技術 の研究開発	このまま 推進す べき	光通信産業は日本の基 幹産業として最も重要 です。日本の成長産業 だと思います。光通信 産業の研究開発を強力 に推進すべきだと思い ます。	日本の光ファイバーサ ービスは、世界のトップ クラスです。この地位を 維持することは、日本の 国際競争力を考えると とても重要なことだと思 います。光通信産業は すべての産業の基盤に なるものです。今まで伸 びてきた自動車産業は 今大変な状態です。どう か新しい成長産業と思 われるこの分野は非常 に日本にとって大切だ と思います。強力に推進 お願い致します。
								Bファクトリーは2008年 度の小林、益川氏のノ ーベル物理学賞の受賞



4087	大学・公的研究機関（独法・公設試等）	40～49歳	文部科学省	24138	Bファクトリー加速器の高度化による新しい物理法則の探求	このまま推進すべき	現在世界一の強度を誇っていますので、それをさらに改善し、より高強度にして、また、測定器も最新の物にして、より詳細に反応を観測出来るように、改善すべきであると思います。	を決定づけた重要な研究施設であります。高強度の10GeVの電子、陽電子加速器は現在では、Bファクトリーが世界一の強度をほこり、類似のマシンは他に存在せず、独占的に研究成果を今後も出し続けるものと期待される。全世界の優秀な研究者がこの施設に集まり、国際的な研究拠点となると考えられ、そこで育つ若手研究者は国際的に活躍するようになることが期待される。そのため、日本の高等教育にも多に貢献すると思われる。
4088	民間企業	40～49歳	総務省	20110	フットニクネットワーク技術に関する研究開発	このまま推進すべき	光通信産業は日本の基幹産業として最も重要です。日本の成長産業だと思います。光通信産業の研究開発を強力に推進すべきだと思います。	日本の光ファイバーサービスは、世界のトップクラスです。この地位を維持することは、日本の国際競争力を考えるととても重要なことだと思います。光通信産業はすべての産業の基盤になるものです。今まで伸びてきた自動車産業は今大変な状態です。どうか新しい成長産業と思われるこの分野は非常に日本にとって大切だと思います。強力に推進お願い致します。
4089	大学・公的研究機関（独法・公設試等）	40～49歳	文部科学省	24165	高度な3S「人材・技術」を活かした日本発原子力の世界展開	このまま推進すべき	我が国のエネルギーの安定確保のために、原子力発電の利用は欠かせないものであり、そのための技術者の育成は必要不可欠である。また、国内で培った技術を有効利用し、世界、特に発展途上国への技術協力等を展開し、国際的な貢献を行うことは重要である。	エネルギー資源の少ない我が国において、エネルギーの安定供給は、非常に重要な将来への課題であるため。
4090	大学・公的研究機関（独法・公設試等）	50～59歳	文部科学省	24149	国立大学法人等施設の整備	このまま推進すべき	このまま推進すべきであり、予算増額も必要である。	未来への国力、対外的な国力を培うには教育と研究の活動が必須であり、国立大学法人は、すでに実質無料化が推進されている高等学校の次のステップとして、教育の根幹をなすもの

	等)						である。	
4091	公益法人	60歳～	総務省	20004	脳の仕組みを活かしたイノベーション創成型研究開発	このまま推進すべき	私は現在、社会福祉法人と特別養護老人ホームの理事をしています。これら施設には脳障害による会話の困難な人が数多く入居しており、これらの人々を介護する人にとって大変大きな負担となっています。一般家庭でも同様と思います。今、この革新的なBMI技術が確立すれば、障害者を含め介護する立場の人にとっても大きな福音と思います。	また、この技術は今後、世界に発信できると共に地域産業の創設に繋がり、雇用促進に寄与する研究と高く評価しています。
4092	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	50～59歳	文部科学省	24172	先端研究施設共用促進事業	このまま推進すべき	公的な研究施設の先端研究設備を民間事業者に開放することは有意義である。	これまでに公的研究機関の先端研究設備の利用について制度が整備されておらず、企業等の民間利用が立ち遅れていた。本事業の継続により、先端研究設備の民間利用をさらに促進すべきである。
4093	公益法人	60歳～	厚生労働省	25101	先端的基盤開発研究(創薬基盤推進研究)	このまま推進すべき	新薬開発を行う上で基盤となる研究を推進する施策であり、一企業では実現できない内容である。国の施策として継続的に推進していくべきである。	本施策は画期的な医薬品を創出することに特化した研究であり、患者に新薬を早期に提供するために有益な研究である。本施策の成果の一例として、世界に誇れる医薬品の安全性を予測するデータベースが既に構築され、新薬開発に役立っている
4094	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24149	国立大学法人等施設の整備	このまま推進すべき	国立大学法人の建物や教育・研究用の設備にもっと重点すべきである。	国立大学法人の建物や教育・研究用の設備は、非常に狭くまた古いものが多く、教育・研究に影響がある。
4095	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	50～59歳	総務省	20111	新世代ネットワーク基盤技術に関する研究開発	このまま推進すべき	このまま推進すべきであり、予算増額も必要である。	ネットワークは、エネルギー・交通運輸などと並ぶ現代社会のインフラである。
			文部		Bepi	このまま	宇宙へ行くことは人類	

4096	その他	30～39歳	科学省	24170	Colombo(水星探査プロジェクト)	推進すべき	是非実現してください。	にとつてとても必要なことだと思います。
4097	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	20～29歳	環境省	29102	子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)	このまま推進すべき	子どもと親の発達を生まれた時から長期にわたって追跡調査するのは、大変なエネルギーとバックアップが必要だと思います。これだけ大規模の調査が意義あるものとなるために確実に十分な予算が必要だと思います。	すべての子どもの健全な発達を保障するのは、未来の日本のための第一歩だと思います。そのための基礎研究と体制の整備は必須の事です。充実した研究成果を期待しています。
4098	小・中・高校	50～59歳	文部科学省	24146	私立大学等研究設備等整備費補助	このまま推進すべき	将来の我が国を担う若者の人材育成に、私立大学は各分野で重要な役割を果たしてきました。その研究設備の補助の必要性はこのような経済状況であるからこそ、今後益々必要性を増していくでしょう。各大学の伝統や教育に携わる個人々の努力といった「過去の財産」によってかろうじてその命脈を保っている、現状を何とか今後も活かしていく為にも研究設備への補助は不可欠と考えます。	厳しい経済状況の中で各私立大学はその限られた研究設備の中で工夫努力を重ね、最大限の効果をはかるべく尽力しているかと思えます。ここでそこへの補助を打ち切るとは積み重ねた諸々の研究基盤を崩壊させることになりかねません。九仞の功を一簣に欠くことのないようにするため、今後も引き続いて研究設備への補助は必要であると思うからです。
4099	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	20～29歳	文部科学省	24009	特別奨励研究員事業	このまま推進すべき	この事業を推進させより充実した若手研究者の養成を行っていくべきである。	科学は若い研究者の力によって進められている部分が非常に大きい。現状として若手研究者は自分の研究のための費用を取ってくるのがまだまだ難しいように感じる。このような事業を推し進めていき若手研究者への研究の機会を増やし、彼らの力を伸ばしていくべき。若手の研究者を育成する上でなくてはならない事業である。
	大学・公的研究機関	30～	文部		ナノテクノロ	このまま	ナノテクノロジーネットワークは、改善・見直しをした上で推進すべきであるが、国家の技術力	ナノテクノロジーは研究開発途上ながらも、すでに実用上重要な材料や手法となっている。一方、その分析には高額な最先端機器が必要であり、多くの企業や研究者が参画する妨げになっている。国家戦略とし

4100	(独 法・公 設試 等)	39歳	科学 省	24180	ジーネットワ ーク	推進す べき	を高めることを目標に、 より広く柔軟に運用をす べきである。決して縮減 すべきではない。	て拠点となる大学に最 先端機器を設置、一般 に公開することはナノテ クノロジーを推進する上 で最上の策といっても 過言ではない。我々も すでに大きな恩恵を受 けており、今後是非継 続してほしい。
4101	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・公 設試 等)	50～ 59歳	文部 科学 省	24133	科学研究費 補助金	改善・見 直しをし た上で推 進すべき	科学研究費補助金を拡 充することは、日本の科 学・技術を推進するた めには必要不可欠であ る。特に人文・社会科学 系等の基礎研究に対す る支援を強化することで 研究領域のさらなる発 展に繋がり、幅広い人 材育成に資することとな る。 また、都市部の大学 に採択が集中すること なく、地方大学への採 択への配慮もお願いし たい。	科学研究費補助金は、 人文・社会科学から自 然科学まですべての分 野にわたる学術研究を 発展させるため支援す る制度なので、大学に おける研究を推進する ための重要な施策であ る。 基礎研究の強化に関 しては、総合科学技術 会議で決定した「平成2 3年度の科学・技術に 関する予算等の資源配 分方針」に合致してい る。
4102	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・公 設試 等)	30～ 39歳	文部 科学 省	24119	ナショナルバ イオリソース プロジェクト	このまま 推進す べき	質が高く、統合的で、使 い勝手のよいバイオリ ソースを提供するイン フラを有することは、国 のライフサイエンスの推 進にとって本質的に重要 であると共に、海外へも サービスを提供すること で、ライフサイエンス全 体への波及効果と恩恵 を広げ、日本の存在を 高めることにもつながる ので、ナショナルバイ オリソースプロジェクトは 戦略的に推進すべきで ある。	質が高く、統合的で、使 い勝手のよいイオリソ ースを提供するインフラ を有することは、科学の 観点に加えて、安全保 障の観点、及び技術革 新の観点からも、日本 が国として戦略的に整 備を進め続けることが 必要な分野である。日 本独自のリソース(ニ ホンザル、メダカ等)も 積極的に整備していく ことで、多様なライフ サイエンスに資すると 共に、日本の強みも発 揮することができる。
4103	民間 企業	40～ 49歳	文部 科学 省	24165	高度な3S 「人材・技術」 を活かした日 本発原子力の 世界展開	このまま 推進す べき	科学技術立国を目指す 基本方針に基づき、エ ネルギー分野での世界 貢献を積極的に進める べき。	エネルギー資源の少な い我が国において、そ の安定供給には基幹電 源としての原子力は不 可欠であり、研究開発 を推進すべきである。ま た、国内で培った技術 を生かし、世界展開を はかり、技術協力等を 積極的に推進すべきで ある。
	大学・ 公的						大学の運営費が減額さ れている今、大学教育 を実施する上でも科学	大学の運営費が減額さ れている今、大学教育

4104	研究機関 (独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	研究費補助金が重要になっている。本来大学運営費を増額するのが妥当であると思われるが、同時に科学研究費補助金も必要になる。	を実施する上でも科学研究費補助金が重要になっている。また、基礎研究にも十分の研究費が当たるようにするべきである。
4105	大学・公的研究機関 (独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	決して収縮させることなく、推進していくべきである。他の研究費は一部の分野に偏向する状況にあるので、それ以外の分野に厚く分配するべきである。とくに、材料・デバイス開発などの、日本の根底を支える技術への支援がおろそかになっている状況に十分配慮すべきである。	科学技術立国を目指す日本の基礎を支えるために必要不可欠である。幅広い支援によって数年～数十年後の日本や世界の科学や技術が支えられることになる。これをおろそかにしては、科学技術立国は成立し得ない。
4106	民間企業	40～49歳	文部科学省	24144	私立大学等経常費補助	このまま推進すべき	わが国の高等教育の要である大学教育の私立大学は、特色あるその建学の精神と培った伝統に加えて、いまやより国際競争力を増すための最先端研究による社会への利益還元が求められる。このためには私学への経常費補助は必須である。	これまでわが国の大学教育は、官である国立大学と在野の私立大学の切磋琢磨の教育研究と好景気に支えられた経済界の支援によって成り立ってきた。しかしながら現代の国際化社会では、優秀な人材は必ずしも日本に留まることなく、良くも悪くも開かれた教育環境となった。加えて少子化という人口動態の大きな変革期にあって、私学の経営は企業とは一線画し、先ず教育施設としての存続を確たるものする必要がある。
4107	民間企業	50～59歳	文部科学省	24113	(独)宇宙航空研究開発機構「地球観測衛星網の構築」	このまま推進すべき	世界に先駆けて「環境先進国」を実現するためには、低炭素・気候変動に対応したインフラ整備が必要であるが、そのためには全地球規模での客観的な観測による検証が不可欠である。GCOM-C、Earth CARE/CPRはまさに全地球規模での観測を具現化するものであり必須の衛星/センサーである。これらの衛星を開発運用することは、国際社会でのリーダーシップの発揮、プレゼンスの拡大・貢献の認識につ	わが国の環境・エネルギー大国戦略により推進されるグリーンイノベーション施策の効果を全地球的に検証することが必須である。

							ながるものであり、積極的に推進すべきである。	
4108	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	40～49歳	文部科学省	24170	Bepi Colombo(水星探査プロジェクト)	このまま推進すべき	<p>1. 発展の著しい惑星探査に日本が乗り遅れることは絶対に避けなければならない。</p> <p>2. 欧州宇宙連合ESAの信頼に応えることは国としての責務である。</p> <p>3. 技術立国を標榜する我が国において深刻な青少年の理工系離れを食い止めるために、日本の惑星探査は推進すべきである。</p>	<p>1. 中国の台頭著しい宇宙科学において、世界の中の我国の存在感が薄くなっていることが危惧される。</p> <p>2. この計画は、欧州宇宙連合ESAが米国でなく我が国を名指して参加を要請してきたものである。しかもESAは計画全体の生命線とも言うべき衛星MMOを日本に委ねるといった篤い信頼を示してきた。この信頼に応えることができなければ今後日本の宇宙科学は世界から相手にされなくなる恐れがある。</p> <p>3. 日本の青少年は技術や科学に対する自信と誇りを失っている事を大学教育の現場において強く感じる。国を支える理工系が、高収入追求の波の中で見下される風潮を食い止めねばならない。</p>
4109	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	40～49歳	文部科学省	24149	国立大学法人等施設の整備	このまま推進すべき	<p>国立大学(東京工業大学)に勤務する教員として意見を述べる。多くの国立大学の建物はかなり古く、私のオフィスのある建物も耐震基準を全く満たしていない。大学生、大学院生の教育、および大学の研究活動に大きな支障をきたしている。ぜひ、大学施設の更新を進めていただきたい。</p>	<p>国立大学の多くの建物がいまだに耐震基準を満たさず、我が国の将来を担う貴重な人材が満足な建物で教育を受けていない。また、危険にさらされている。国立大学の多くは災害時の避難施設に指定されているにもかかわらず、耐震基準を満たさない建物が多く残されていることに国は危機感を持つべきである。</p>
4110	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24104	ナノテクノロジーを活用した環境技術開発	このまま推進すべき	<p>成果を出すのに、時間がかかる。</p>	<p>環境・予算等が整いにくいものでありますし、1つ成果が出たのちは、リズムよく、成果が得られるものであると考えられるため。</p>
	大学・						<p>本事業は、国家の礎である「科学技術の振興と推進」にとって本質的なものであり、「平成22</p>	<p>バイオリソースは基礎研究から応用研究まで幅広くライフサイエンス</p>

4111	公的研究機関 (独法・公設試等)	50～59歳	文部科学省	24119	ナショナルバイオリソースプロジェクト	このまま推進すべき	年度予算編成の方針」に基づく、新たな資源配分方針においても「重点的に推進すべき課題」として挙げられている「健康長寿社会の実現」や「社会還元加速プロジェクト」、「革新的技術の推進」に大いに貢献するものである。	研究全体を支える極めて重要な基盤であり、様々な疾患に対する予防・治療法や独創的な創薬の開発、生産性や品質の向上した農林水産物・食品の開発などに寄与する研究成果の創出に必要不可欠である。
4112	官公庁	40～49歳	文部科学省	24181	イノベーションシステム整備事業(地域イノベーションクラスタープログラム)	このまま推進すべき	仙台地域では、医療費や介護費用の増加や地域経済の低迷など、地域共通の課題に一体的に対応するため、地域の資源を結集して市民一人ひとりが健康を維持できる社会の創成を目指しています。そのためには、大学の研究成果によるイノベーションを持続的に創出していくことが重要となります。この構想を実現するため、「地域イノベーションクラスタープログラム」は、当地域にとって必要不可欠なものとなっていますので、ぜひ当事業を高い優先度で判定いただきますようお願いいたします。	当地域では、地域イノベーションクラスタープログラム(グローバル型)の4年目を迎えており、事業の最終年度にあたる平成23年度は、研究成果の事業化に向けた取り組みをさらに強化していく段階になります。事業期間終了後に、クラスター形成に向けた取り組みが着実に継続していく基盤を作り上げるためにも、最終年度まで当該事業による国の継続的な支援が必要となっています。
4113	民間企業	50～59歳	総務省	20002	グローバル展開型通信衛星技術開発事業	このまま推進すべき	通信の世界は、グローバル化の進展に伴い、宇宙/衛星技術の適用が最も期待される分野である。この領域の技術開発のリードをとることは我が国にとって重要	通信の世界は、グローバル化の進展に伴い、宇宙/衛星技術の適用が最も期待される分野である。この領域の技術開発のリードをとることは我が国にとって重要
4114	民間企業	30～39歳	文部科学省	24172	先端研究施設共用促進事業	改善・見直しをした上で推進すべき	先端研究施設の共用が	研究開発における産学官の連携という言葉は、実際に研究開発の交流が進まなければ意義のある実態を生じないが、本事業により、このような交流の接点を得られた。海外に比べ、高い分析技術や知見による評価を迅速に行えるように、制度を整備していただくことで、産業を活気づける一方で、産業界のニーズや知見が先端研究施設にも提供させることにつなが

							有益である。	り、さらなる発展のスパイラルが期待できる。この観点で、ぜひ民間事業者がより使い易い、非公開性や簡易な契約による開発促進制度の改善を続けていただきたい。
4115	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	50～59歳	文部科学省	24144	私立大学等経常費補助	このまま推進すべき	私立大学は、建学の精神に基づく多様な人材育成や特色ある教育研究の展開を担うなど、我が国の高等教育の質・量両面にわたる発展に重要な役割を果たしている。私立大学のマネジメント改革を伴った組織的な教育研究の充実のための取組の定着を図り、我が国の成長の土台となる教育研究基盤の強化することが不可欠である。このためには私学運営費補助金が必須であると考える。	我が国の学術研究全体のすそ野を広げ、学術研究活動を促進するためには、大学生の約8割を担う私立大学の学術研究活動の基盤の整備を図ることが重要である。私立大学の組織的な教育研究の充実のための取組を進め、我が国の成長の土台となる教育研究基盤の強化することが重要であるから。
4116	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	50～59歳	厚生労働省	25101	先端的基盤開発研究(創薬基盤推進研究)	このまま推進すべき	国民の健康増進、疾病予防や治療のために、遺伝子技術など近年急速に発展した技術を用いた研究を大いに推進するべきである。	超高齢社会を迎えつつある我が国において、高度な健康増進、疾病予防、疾病治療技術を開発することは、国民の最も重要なニーズの一つであり、また海外に向けても、これらの高度な技術を発信したり輸出することができる。
4117	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	50～59歳	文部科学省	24134	戦略的創造研究推進事業	推進すべきではない	審査基準が不透明であり、設定テーマも、「戦略」ではなく、流行の後追いになっている。はっきり言って、無駄遣いである。	審査員は大先生かもしれないが、必ずしも公正に判断できる能力をもっているとは言えない。面接に強い「巧言令色」の人が選ばれており、また、業績の審査も論文内容そのものではなく、どの雑誌に掲載されているか等、外形的な面のみが重要視されているようである。
	大学・						特別研究員事業は将来	大学院博士課程、およびポスドクと呼ばれる研究者は将来の科学を担う重要な人材である。彼らは他の研究者と同様、各研究分野において以上に重要な役割を



4118	公的研究機関 (独法・公設試等)	20～29歳	文部科学省	24141	特別研究員事業	このまま推進すべき	<p>の科学を担う日本の研究者を育成するうえで非常に重要な素晴らしいプログラムである。この事業は推進されるべきである。</p> <p>担っており、その仕事量はシニアな研究者をはるかにしのいでいる。しかしながら一般的に彼らへの報酬はそれに見合うものになっていない。この特別研究員のプログラムは彼らが研究者として研究を行っていくための非常に重要なプログラムである。</p>
4119	大学・公的研究機関 (独法・公設試等)	40～49歳	文部科学省	24141	特別研究員事業	このまま推進すべき	<p>特別研究員(PD)は日本の科学研究を担う後継者を養成するために極めて重要な制度である。採用人数を増やし、平均レベルを十分に超える能力を持つ優秀な若手であれば採用される確率が高いシステムにすべきと考える。</p> <p>近年、採用人数が減って倍率が10倍程度になっており、優秀な若手研究者にとっても狭き門になっている。これでは、かなり優秀な若手でも採用されないことが多くなる。高いポテンシャルを持っているが発表論文数はまだ多くないような、これから伸びるであろう若手も採用できるような余裕のある制度が望ましい。</p>
4120	大学・公的研究機関 (独法・公設試等)	40～49歳	文部科学省	24117	重粒子線を用いたがん治療研究	その他	<p>もっと大きく推進すべきと考える。現段階は世界標準となるかどうかの重要な時期であり、自動化を進めるとともに現状でネックとなっている技術を用いれる療法士の育成、海外への展開を含め大きな体制を迅速に構築すべきであると考える。</p> <p>重粒子線を用いたがん治療は従来のがん治療と相補的であり、日本人の発想でいち早くスタートした炭素線による治療技術、日本の得意とする素粒子物理の研究用に開発されてきた加速器の技術と企業の製造能力の組み合わせで世界標準に育てることが可能な状況であり、逆に海外でも技術の輸出が始まっている重要な岐路に立っていると考える。加速器および治療装置は非常に幅の広い分野の技術の集合である総合科学・技術であり多くの企業が参加する拠点事業ともなる。日本に海外から治療にくるような拠点を多数創り上げることは国民の安心とともに海外からの賞賛を得ることに也大いに役立つと考える。医療の充実、科学・技術による外交、産業振興の面からも更に国として</p>

								総合的に推進すべきと考える。
4121	民間企業	50～59歳	総務省	20105	光空間通信技術の研究開発	このまま推進すべき	情報化社会にとって、通信容量の大型化は必須	情報化社会にとって、通信容量の大型化は必須
4122	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	50～59歳	文部科学省	24008	テニュアトラック普及・定着事業	このまま推進すべき	若手研究者が自立して研究できる環境を整備することは重要であるとともに、次の時代の研究者を確保する上で、大学にインセンティブが働くような支援は必要である。	研究者養成の支援策として必要であり、各大学により状況が異なるので継続的な事業実施が必要である。
4123	その他	60歳～	文部科学省	24165	高度な3S「人材・技術」を活かした日本発原子力の世界展開	このまま推進すべき	エネルギーの安定確保のためにも、積極的に推進すべき。	エネルギー資源のほとんどを輸入している我が国において、原子力発電は純国産エネルギーであり、研究開発を積極的に推進すべきである。また、国内で培った技術を活用し、積極的な技術協力等を進め、国際的な先導者となるべき。
4124	民間企業	50～59歳	総務省	20106	準天頂衛星システムの研究開発	改善・見直しをした上で推進すべき	準天頂衛星システムは、我が国で自律的な測位機能をもつものとして、事業の継続が必須。ただし、現在のような大型システムではなく、最先端の技術を応用した小型システムとすべき。	準天頂衛星システムは、我が国で自律的な測位機能をもつものとして、事業の継続が必須。ただし、現在のような大型システムではなく、最先端の技術を応用した小型システムとすべき。
4125	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	50～59歳	文部科学省	24145	私立学校施設高度化推進事業費補助	このまま推進すべき	私立大学は、建学の精神に基づく多様な人材育成や特色ある教育研究の展開を担うなど、我が国の高等教育の質・量両面にわたる発展に重要な役割を果たしている。私立大学のマネジメント改革を伴った組織的な教育研究の充実のための取組の定着を図り、我が国の成長の土台となる教育研究基盤の強化することが不可欠である。このためには私学運営費補助金が必須であると考えられる。	我が国の学術研究全体のすそ野を広げ、学術研究活動を促進するためには、大学生の約8割を担う私立大学の学術研究活動の基盤の整備を図ることが重要である。私立大学の組織的な教育研究の充実のための取組を進め、我が国の成長の土台となる教育研究基盤の強化することが重要である。このためには私学運営費補助金が不可欠であるから。
4126	民間企業	50～59歳	総務省	20119	地上／衛星共用携帯電話システム技	このまま推進す	情報化社会にとって、当該通信システムの実	情報化社会にとって、当該通信システムの実

					術の研究開発	べき	現は必須。	現は必須。
4127	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24178	大型放射光施設(SPring-8)	このまま推進すべき	予算を増額し大いに推進すべきである。	21世紀は光科学の時代と言われるように、優れた性質を持つ放射光は、物理学、工学、生物学、医学などなど非常に多岐にわたる分野で強力なツールである。豊かな暮らしを守り、新しい産業を切り開き、新たな雇用を創出するためには放射光は欠かせない。世界をリードする性能を誇るSPring-8は、さらなる予算を投入し、利用を推進すべきである。
4128	民間企業	50～59歳	文部科学省	24113	(独)宇宙航空研究開発機構「地球観測衛星網の構築」	このまま推進すべき	本研究の対象である「地球環境情報収集」は現在急務の課題であり、積極的な推進が必要	本研究の対象である「地球環境情報収集」は現在急務の課題であり、積極的な推進が必要
4129	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24176	光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発	このまま推進すべき	光・量子科学研究拠点形成用の競争的資金として重要である。	日本国内の光・量子科学研究拠点形成は欧米と比較して貧弱であり、アジア諸国にも追い上げられている。このため、国際的競争力を保つためには本予算は必要である。
4130	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24146	私立大学等研究設備等整備費補助	このまま推進すべき	私立大学は、建学の精神に基づく多様な人材育成や特色ある教育研究の展開を担うなど、我が国の高等教育の質・量両面にわたる発展に重要な役割を果たしている。私立大学のマネジメント改革を伴った組織的な教育研究の充実のための取組の定着を図り、我が国の成長の土台となる教育研究基盤の強化することが不可欠である。このためには私学運営費補助金が必須であると考えます。	我が国の学術研究全体のすそ野を広げ、学術研究活動を促進するためには、大学生の約8割を担う私立大学の学術研究活動の基盤の整備を図ることが重要である。私立大学の組織的な教育研究の充実のための取組を進め、我が国の成長の土台となる教育研究基盤の強化することが重要である。このためには私学運営費補助金が不可欠であるから。
							理系女性研究者の出産・育児のみを支援の対象とするのではなく、	今後の少子高齢化社会における人材活用を考えると、女性であっても出産・育児等のライフイベントを乗り越えて研究

4131	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24010	女性研究者研究活動支援事業	改善・見直しをした上で推進すべき	分野に関係なく男性・女性の研究者を対象とした出産・育児、看護、介護等のライフイベントを支援できる仕組みとすべき。また、女性研究者の在籍割合による運営交付金・私学助成金の割増といったインセンティブの付与とセットにして実施すべき。	を継続できる環境を創出することは国益にかなうと考えられる。一方で、理系女性研究者のみを対象とした施策では継続的な支援環境を作ることは困難である。したがって、女性研究者の積極的な登用やキャリア継続支援が期間全体にとってメリットとなるようなインセンティブの付与が不可欠であると考えられる。
4132	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	人文・社会科学(とくに科学教育)の分野を手厚く支援する必要がある。	科学教育の推進において、研究者の自由な発想に基づく「学術研究」は極めて重要である。これは今後の社会に貢献する。
4133	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24143	大学院教育改革推進事業のうち、グローバルCOEプログラム	このまま推進すべき	大学院博士課程の学生に対し、RA等の金銭的補助などを提供することにより教育・研究に専念する環境を提供するグローバルCOEプログラムの推進を強く希望致します。	私は今年度より博士課程に進学し、グローバルCORプログラムのRAに採用され、本プログラムから経済的な支援を受けております。本支援のおかげで、研究に専念できるため非常に感謝しております。また、本プログラムでは定期的に各研究分野の著名な先生方による講演が開催されており、知識を深めることができ私の研究生活の良い刺激となっております。上述した理由により、教育および研究に専念できる環境を提供する本プログラムの推進を強く希望致します。
4134	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	科学研究費補助金の充実を求める。	学術研究では、実用を目的とする科学技術とは異なり、短期間に目に見える形の効果を与えることは希である。しかし、その成果は長年にわたり社会に根本的な変革をもたらす可能性を常に秘めている。学術研究から生み出される知的資産こそが国力の重要な源泉であり、未来を切り拓く原動

							力となると確信するから。	
4135	民間企業	40～49歳	経済産業省	27156	次世代地球観測センサ(高性能ハイパースペクトルセンサ)等の研究開発	このまま推進すべき	本事業を是非とも推進すべきと考えます。	ハイパースペクトルセンサは、現在世界各国が競って開発を行っているようです。今のセンサでは木々の種類、生育や米の品質を左右するタンパク質含有率等が識別できる。また海の色から水質、岩石の色から鉱物資源の分布状況等も把握できることが期待されると聞いています。このように本センサの用途は多岐にわたり、学術的にはもとより新たなビジネス市場の開拓にもつながる重要な施策であるので是非とも推進すべきと思います。
4136	民間企業	50～59歳	文部科学省	24169	-最先端宇宙科学・技術と人材育成をセットにした新たな海外展開戦略-	このまま推進すべき	はやぶさの成功は、我が国宇宙技術の高さを全世界にアピールするとともに国威高揚の効果までもたらした。このような最先端宇宙科学技術の推進は非常に重要	はやぶさの成功は、我が国宇宙技術の高さを全世界にアピールするとともに国威高揚の効果までもたらした。このような最先端宇宙科学技術の推進は非常に重要
4137	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24147	私立学校教育研究装置等施設整備費補助	このまま推進すべき	私立大学は、建学の精神に基づく多様な人材育成や特色ある教育研究の展開を担うなど、我が国の高等教育の質・量両面にわたる発展に重要な役割を果たしている。私立大学のマネジメント改革を伴った組織的な教育研究の充実のための取組の定着を図り、我が国の成長の土台となる教育研究基盤の強化することが不可欠である。このためには私学運営費補助金が必須であると考えます。	我が国の学術研究全体のすそ野を広げ、学術研究活動を促進するためには、大学生の約8割を担う私立大学の学術研究活動の基盤の整備を図ることが重要である。私立大学の組織的な教育研究の充実のための取組を進め、我が国の成長の土台となる教育研究基盤の強化することが重要である。このためには私学運営費補助金が不可欠であるから。
							今や国家の通信インフラとして不可欠なものとなっているインターネットは、そのトラフィックが年率40%で増大し続けている。そのトラフィックを効率よく基幹網に収	超高速光エッジノード技術の研究開発において、エッジノードの高速化と消費電力削減のための技術開発を推進することにより、快適なブロードバンドサービスの

4138	民間企業	50～59歳	総務省	20102	超高速光エッジノード技術の研究開発	このまま推進すべき	容する高速・低消費電力なエッジノードと、デジタルコヒーレント光送受信機の開発は喫緊の課題である。特にデジタルコヒーレント方式はこれまでの光通信方式を大きく塗り替えるものであり、世界市場制覇に向けて日本が世界に先駆けて実装技術を確立すべきものである。	提供が可能となる。また、デジタルコヒーレント光送受信機能実装技術の推進により、産官学のコアコンピタンスを結集してコア技術となるアルゴリズムの検証およびLSIチップ設計法の確立が短期間のうちに図れ、日本の海外に対するアドバンテージを築ける。
4139	大学・公的研究機関（独法・公設等）	40～49歳	文部科学省	24143	大学院教育改革推進事業のうち、グローバルCOEプログラム	このまま推進すべき	グローバルCOEプログラムは将来の日本を担う若手研究者の大学院教育を支援するものであり、日本の科学の発展にとって、また日本の将来の国際競争力を維持し続けるために、最も重要な施策であると考えられる。本施策は、今後さらに推進すべきであり、若手研究者が充実した大学院教育を受けるに十分な支援を展開すべきである。	日本の真の国力は、優秀な高い専門的技術と知識を備えた研究者の質と量によって築かれた科学立国としての実力に基づいている。従って、常に経済的、科学的な国際競争力を維持していくためには、次世代を担う若手研究者を断絶無く恒常的に輩出することが重要であり、将来の日本を背負う若手研究者にとって不可欠な本施策については、今後さらに推進すべきである。
4140	大学・公的研究機関（独法・公設等）	40～49歳	文部科学省	24176	光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発	このまま推進すべき	この分野はスピントロニクス同様、政府が重点的に推進すべき分野です。特に半導体チップ上で光の送受信を行う技術は国家の技術戦略として重視して頂きたいと思えます。年に十数億円の予算は重要性に比べ少なすぎるのではと思えます。	光技術は日本が技術的優位性を持ち、次世代コンピューティング等に大きな革新をもたらす可能性が高い分野です。光インターコネクトは光ファイバーがインターネットに革新的な速度向上をもたらしたように、コンピューターなどの電子機器を一新する潜在能力を十分持っています。LED照明などグリーン分野への展開も期待出来るため、この分野は大変重要です。超強力レーザーによる核融合、防衛機器などへの応用も期待できます。
							これまでの実績から国際的に優位を保てそう	宇宙産業に小型衛星という新しい分野が確立されようとしており、欧米、中国、インドなどが積極的に新規技術の開発を行い優位に立とうと競争が激化している。

4141	民間企業	40～49歳	総務省	20113	ワイヤレスネットワーク技術に関する研究開発	このまま推進すべき	な分野であり積極的に推進すべきと考える。特に小型衛星を用いた光衛星通信技術の実証は小型衛星の分野でプレゼンスを発揮できる技術であり、是非実現していただきたい分野である。	小型衛星の産業化に与っての主要な技術は衛星からの大規模データ伝送が実現できる低電力高速通信である。我が国は衛星一地上間光通信技術の実証に成功しており、この分野での優位性を活かし小型衛星分野で優位になるために是非本研究開発を進めていただきたいと考える。
4142	民間企業	40～49歳	文部科学省	24177	大強度陽子加速器施設(J-PARC)	このまま推進すべき	資源に乏しい我が国に於いて、次世代を担う科学技術の研究開発に邁進する事は必要不可欠といえる。その中でもJ-PARCは最先端の研究を(比較相対的に)低予算で賄っており、必ずやその努力は報われる時が来るだろう。本年8月に行われた一般公開にも愚息と一緒に参加見学をしたが、懇切丁寧な説明を受け感銘を覚えた。	特に「世界が待望する夢のチーム:超低速ミュオンの早期実現」「世界最高パルス強度ミュオン源により、ミュオン研究の世界拠点作り」からは目が離せないものである。
4143	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24010	女性研究者研究活動支援事業	このまま推進すべき	女性研究者支援室の整備等は、男女参画社会の形成のためにも必要な施策である。また、支援期間が3年間ではなく、もっと長期的な支援が必要である。	我が国の女性研究者の割合を高めていくことは、新成長戦略のシナリオに沿っている。
4144	その他	50～59歳	総務省	20102	超高速エッジノート技術の研究開発	このまま推進すべき	光通信産業は将来、日本の基幹産業と成り得る分野です。予算を減らす事は、日本の国際競争力を低下させます。	他国が遅れている分野こそ、我が国が技術開発せず、予算を削減するなど、日本の将来を真剣に考えているとは思えません。現内閣は、第三国に配慮でもしているのでしょうか？民間人の感覚、経営者感覚では予算削減の意味がわかりません。
4145	民間企業	50～59歳	経済産業省	27156	次世代地球観測センサー(高性能ハイパースペクトルセンサー)等の研究開発	このまま推進すべき	ハイパースペクトルセンサーは、新たな物性を観測できるようになる可能性を持ったセンサーであり、人類の発展にとって有用なセンサーのため、積極的な推進が必要	ハイパースペクトルセンサーは、新たな物性を観測できるようになる可能性を持ったセンサーであり、人類の発展にとって有用なセンサーのため、積極的な推進が必要

4146	大学・ 公的研究 機関 (独 法・公 設等)	50～ 59歳	農林 水産 省	26108	新たな農林 水産政策を 推進する実 用技術開発 事業	その他	食糧自給率の低下、食 の安全や安心、地球温 暖化などの環境問題な ど、農林水産業や食料 を取り巻く情勢は厳しさを増している。これらの課題を解決すべき事業として、さらに拡充が必要である。	この事業は、農林水産・ 食品産業発展のための 政策の推進及び現場の 解決を図るためのもの であり、産学官が連携 し、効率的に研究を実 施している。これまでも 多くの成果が得られて おり、さらに事業化を進 めるべき課題は多い。
4147	大学・ 公的研究 機関 (独 法・公 設等)	40～ 49歳	文部 科学 省	24141	特別研究員 事業	このまま 推進す べき	高い専門能力・知識を 持つ人材である博士の 教育は我が国の将来に とって最重要の課題で ある。特別研究員制度 はこれまでも日本の博 士教育、博士研究員の 研究活動に大きな役割 を果たしてきており、今 後もこの推進が望まれ る。	博士課程に進む学生、 およびその後の研究活 動を行う際に、その生 活を保障する、という のはどの先進国でも行 われていることで、それ によって高い専門性の ある人材が生まれてい る。我が国もますます こうした人材の育成が 必要であり、ぜひ推進 すべき事業である。
4148	民間 企業	50～ 59歳	経済 産業 省	27157	小型化等 による先進 的宇宙シ ステムの 研究開発	改善・見 直しをし た上で推 進すべき	先進小型宇宙システム は、我が国宇宙産業の 救世主となる可能性を 秘めた重要プログラム である。この技術を早 期に確立し、産業基盤 を強固にし、さらには 宇宙産業のグローバル 競争力の向上が期待で きる。	先進小型宇宙システム は、我が国宇宙産業の 救世主となる可能性を 秘めた重要プログラム である。この技術を早 期に確立し、産業基盤 を強固にし、さらには 宇宙産業のグローバル 競争力の向上が期待で きる。
4149	民間 企業	40～ 49歳	経済 産業 省	27157	小型化等 による先進 的宇宙シ ステムの 研究開発	このまま 推進す べき	本事業を是非とも推 進すべきと考えます。	今の日本経済に於い て、新たな基幹産業の 創出は経済復活のため の急務と思います。宇 宙産業はこれからの日 本経済復活のための切 り札と考えられます。衛 星ビジネス市場は、欧 米企業が大型衛星市場 を独占している状態 である一方、近年振興 国を中心に低コスト、 短納期で打上げられる 小型衛星の需要が大き なりつつあり、本施策 である高性能小型衛星 の研究開発はまさに タイミング・内容とも に我が国宇宙産業競 争力強化のための必 須の施策であると思 います。したがって 本試作は是非推進す べきです。
								「はやぶさ」その他の科



4150	民間企業	50～59歳	文部科学省	24169	我が国の宇宙技術の世界展開	改善・見直しをした上で推進すべき	「科学衛星による教育機関を通じた我が国の技術の世界展開」を施策に加えて、積極的に推進すべきである。 (「はやぶさ」以外にも評価されるべき将来科学プロジェクト候補が多数あり、これらの促進を図り世界展開を図る必要がある。)	学衛星のミッションにおいては、世界規模の科学者コミュニティが相互に連絡をとってプロジェクトを推進している。このコミュニティは同時に各国における教育の中核として機能している。このようなコミュニティに対して、 ・日本の衛星システムのアピール ・データ利用を通じた総合システムのアピールを図ることは、各国における若手技術者に対して我が国の宇宙技術を宣伝し長期的に適用してもらおう絶好の機会創出となる。
4151	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	50～59歳	文部科学省	24179	X線自由電子レーザー(XFEL)施設	このまま推進すべき	ナノサイエンス、バイオサイエンス等において、未知の大きな可能性をはらんでいる。まだ新しい事業であり、評価するには時期尚早である。よって、少なくとも5年は、このまま推進すべきである。	我国が、中国等の新興国に比べて圧倒的な差をつけている数少ないプロジェクトである。まだ国民的な理解が得られていないかも知れないが、正に「政治判断」で研究に投資すべきである。
4152	民間企業	50～59歳	環境省	29101	衛星による地球環境観測	このまま推進すべき	本研究の対象である「地球環境情報収集」は現在急務の課題であり、積極的な推進が必要	本研究の対象である「地球環境情報収集」は現在急務の課題であり、積極的な推進が必要
4153	公益法人	60歳～	厚生労働省	25113	独立行政法人医薬基盤研究所 保健医療分野における基礎研究推進事業	このまま推進すべき	本施策は、医薬品等の研究開発において企業では実施が難しい基礎研究や、iPS細胞などの研究資源の開発であり、予算を減額することなく継続すべきである。	本施策により得られる成果によって、画期的な診断法や治療法の開発に繋がると考える。
4154	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24008	テニユアトラック普及・定着事業	このまま推進すべき	若手研究者支援は必要。	特に基礎研究など、必要だが民間では敬遠されがちな分野は国が支援すべき。
							今年6月、7年間かけて帰還した「はやぶさ」、宇宙ヨットの「イカロス」など世界的にも極めて高い技術力を有しており積極的に海外にアピ	

4155	民間企業	50～59歳	文部科学省	24169	わが国の宇宙技術の世界展開—最先端宇宙科学・技術と人材育成をセットにした新たな海外展開戦略—	このまま推進すべき	ールすべきものである。又、GCOM-WやGPM/DPR、ALOS-2はGCOM-CやEarth CAREとともに全地球規模での観測網を構築し、環境監視、災害監視、森林・国土管理、水・資源管理などわが国のグリーンイノベーション施策を検証する極めて重要な衛星群である。これらの衛星のデータ利用を人的支援も含めとくに東南アジアを中心とする宇宙新興国に提供することは、国際協力、国際社会でのリーダーシップの発揮、プレゼンスの拡大・貢献の認識につながると同時に宇宙産業界にもビジネスチャンスをもたらすものであり、積極的に海外展開すべきものである。	科学衛星における極めて高い技術力のアピール。又、グリーンイノベーション施策の効果を全地球規模で検証する地球観測衛星網構築とデータ利用を宇宙新興国へ提供することは、国際協力、わが国のプレゼンス向上、国際社会でのリーダーシップ発揮のみならず、産業界においても新たなビジネス創出につながる。
4156	民間企業	50～59歳	環境省	29104	途上国の森林に係る削減・吸収量の測定事業	このまま推進すべき	いぶきの成果を活かすための技術開発として重要	いぶきの成果を活かすための技術開発として重要
4157	民間企業	50～59歳	総務省	20110	フォトニックネットワーク技術に関する研究開発	このまま推進すべき	総合科学技術会議が選定した23項目の革新的技術(H20.5)の1つに「高速大容量通信網技術・オール光通信処理技術」があげられている。その技術開発を加速するため、総務省やNICTのフォトニックネットワークに関する委託研究開発に対して最優先でこれまで以上に予算を配分し、低消費電力かつ高効率なインターネット通信インフラを実現するフォトニックネットワーク技術開発を加速すべきである。	国民の重要な社会インフラとなっているインターネットのトラフィックが増大し続けている。それを収容するためのネットワークの大容量化と共に、消費電力を削減することが喫緊の課題となっている。通信機器メーカーは圧倒的なコスト圧力を海外メーカーから受けており、日本の技術力は世界最高であるものの、開発コストを価格に上乗せできず、国として重要な低消費電力NWインフラを実現するための研究開発を企業単独では実施できず、国家による推進が必須である。
								現在の日本では、若手研究者に自立と活躍の機会を与える環境が十分に整備されていないことによるポストドクター

4158	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24008	テニュアトラック普及・定着事業	このまま推進すべき	若手研究者が自立して研究できる環境の整備を促進するため、テニュアトラック教員の数を増加させ、テニュアトラック制の全国的な普及・定着を図ることにより、若手研究者の自立的な研究環境の整備を促進することは、現代の日本においては必須である。	問題が存在する。大学においては、いわゆる団塊の世代の定年問題への対処も現実的に求められる中で、若手を積極的に登用し、教員年齢分布の歪さを改めていくと共に、進展著しいサイエンスのフロンティアに対応できる柔軟性を高める機会として積極利用すべきである。また、世界から人材を呼び集めるためにも、普遍性の高い透明かつ公正な採用法は必要である。
4159	その他	40～49歳	文部科学省	24177	大強度陽子加速器施設 j-parc	このまま推進すべき	資源に乏しい我が国に於いて、次世代を担う科学技術の研究開発に邁進する事は必要不可欠といえる。その中でもJ-PARCは最先端の研究を(比較相対的に)低予算で賄っており、必ずやその努力は報われる時が来るだろう。本年8月に行われた一般公開にも愚息と一緒に参加見学をしたが、懇切丁寧な説明を受け感銘を覚えた。	特に「世界が待望する夢のチーム:超低速ミュオンの早期実現」「世界最高パルス強度ミュオン源により、ミュオン研究の世界拠点作り」からは目が離せないものである。
4160	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24014	頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣事業	このまま推進すべき	若手研究者が、世界水準の研究者と会い、研究現場を見ることは、大いに意義がある。若いうちに世界水準の研究に触れることは、言語の壁を取り除くことはもちろん、現在活躍中の海外の研究者や将来活躍するであろう海外の研究者とのネットワークを作ることもつながる。日本国内に留まっていたでは得られない発想にも接することができる。そのため、この事業は推進すべきものと考える。	私がかつて行った調査研究においても、海外出張や在住経験が創造性につながるが実証されている。異質な発想に触れられるからである。創造性は、多様な発想を混合することにより生み出されることが多いことは、よく知られた事実である。
4161	大学・公的研究機関	30～	文部科学省	24010	女性研究者研究活動支	推進すべきでは	一見すると分かりやすい施策のようであるが、トップダウン的に行われている側面が強く、現場の状況を反映している	北大ではすでに女性研究者支援室が設置されているが、外部評価はさておき、肝心の女性研究者自身から必要とされているか、評価され

	(独 法・公 設試 等)	39歳	省		援事業	ない	とはいえないため、一度 施策を白紙に戻し、客 観的に現場の状況を見 極めるべきである。	ているかが不明である (多くの実力のある女性 は逆差別を望まない)。 当事者の意見が最重要 視されるべきである。
4162	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・公 設試 等)	30～ 39歳	文部 科学 省	24008	テニュアトラ ック普及・定 着事業	改善・見 直しをし た上で推 進すべき	方向として、賛成であ り、重要だと思います。 ただ、方法として、テニ ュアトラック職の導入 は、ポスト新設ではな く、既存の助教ポストの 振り替えにのみよるべ きです。その振り替えの インセンティブとしての (ポストク雇用などの人 件費を含む研究費の) 施策ならば、正しい方 向だと思えます。空いた 助教ポストから順次テ ニュアトラック職に振り 替えていくのが正攻法 で、今後10年から15 年をかけて、地道にや っていくべきことだと思 います。また、テニュア トラック制は、目標テニ ュア率を大学側が明 示、公開することが重要 です。	テニュアトラック制の導 入にはインセンティブづ けが効きますが、その 定着には、テニュア審 査期間の後の出口の制 度をきちんと整えること が大事です。テニュア トラック職 N に対して、公 表された テニュア率 x をかけた N x のパーマナント職を 準備できなければ、テ ニュア「トラック」の「制 度」とはとても呼べませ ん。 現在の財政状況では、 大学の研究ポストの増 加は長期的に望めませ んから、ポストの新設で はなく、既存のポストの 振り替えにのみよるべ きです。
4163	民間 企業	50～ 59歳	文部 科学 省	24170	Bepi Colombo(水 星探査プロジ ェクト)	このまま 推進す べき	ESA主導のプロジェクト であるが、国際協力ミ ッション(宇宙外交)の雛 形として重要な位置づ けとなる。我が国の宇 宙技術の国際展開上も 非常に重要である。	このプロジェクトによっ て得られた経験が、次 のステップとして、日本 主導の国際協力ミッシ ョンの推進に活用でき るため。
4164	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・公 設試 等)	40～ 49歳	文部 科学 省	24133	科学研究費 補助金	このまま 推進す べき	科学研究費補助金は、 日本の基礎科学研究を 支える最も重要な研究 支援施策の一つである 集中投資でなく、分散 投資を目指すべきであ る。単年度決算から複 数年度決算へ移行すべ きである。	科学上の発見は、計画 通りの研究ではなく、実 験の失敗などの思いが けないところから生じる ことが多い。科学研究 には多様性が大事であ り、そのためには研究 費は広く配ることが望 ましい。少数の研究者に 多額の研究資金を与え るよりも、なるべく多く の研究者に広く研究費 を配り、多くの研究者 がそれぞれ独自のアイ ディアを試すことによ り、ブレークスルーが 起こる確率が高くなる。 また、複数年度決算 により、研究費をより 有効に使えるようになる ことは明

							らかである。
4165	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	40～49歳	文部科学省	24129	バイオリソース事業	このまま推進すべき	<p>ぜひ長期的な視野に立ち、これまでに収集した生物資源の多様性・品質の維持、さらに効率のよい収集・提供体制の確立を推進して頂きたいと思います。</p> <p>近年の急激な生命科学技術進展の中、我が国に優れた研究のアイデアが生まれても、研究活動の基盤となる生物資源が手元になく、供給を国外に頼らねばならないような状況では意味がありません。日本固有の貴重な種、系統であっても、民間では短期的に収益の見込めそうなもの以外はなおざりにされる可能性が高く、ぜひ国の財産として戦略的な維持管理をお願い致します。</p>
4166	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	60歳～	文部科学省	24160	海洋・極限環境生物圏研究	このまま推進すべき	<p>海洋の時代といわれる今世紀に、未だ謎の多い海底の熱水環境から、深海、海底地下生命圏まで生物の活動と棲息環境を調べて、人類の未来を考えるために全地球的な生物多様性を明らかにする必要がある。これまで充分ではなかった極限環境における生命現象への挑戦は、新たな生物界の拡大発展を可能にし、薬学などの応用科学的側面での展開も期待されるものである。本施策は我が国の緊急課題のひとつとあってよい。</p> <p>極限環境生物圏のなかで、海洋域に関する研究においては海洋研究開発機構がこれまで実績があり、とくに深海から海底下については他の組織では研究することが困難である。地球深部掘削船「ちきゅう」や潜水艇などを活用しつつ、海洋の極限環境における生命活動の解析は、国際的に活躍している専門家集団を抱えている海洋研究開発機構が担当するのがもっともふさわしい。</p>
4167	大学・公的研究機関(独)	40～49歳	文部科学省	24152	スーパーサイエンスハイスクール支援	その他	<p>スーパーサイエンスハイスクールのいくつか実際に出席して、学生の理科教育に対する効果が高いことを実感している。機会があれば学生は理科、科学のおもしろさや自然がいかに謎に充ちているか、いかに日本の技術が進んでいるか、どれほど自分たちに可能性がまっているかに目覚めることが多いと感じている。しかし現状では指定校毎に使える年間予算は小さく、継続的に使用できる機材の購入はおぼつかない。講師</p> <p>大幅に増額して推進していただきたい。各指定高校毎の予算を増やして永続的に用いることができる機材を順番に購入できる環境を整えること、さらにスーパーサイエンスハイスクールの指定校を増やすこと、指定校以外にも大学院学生の出張授業や講演</p>

	法・公設等)			事業		<p>会の機会を増やし派遣される講師への謝金を含め充実させること、そしてスーパーサイエンスハイスクールの担当教員へのサイエンス講習会の実施などを加速させることが必要と考える。</p>	<p>の準備にかかる時間や高校の教員が実習授業の準備に費やす時間を賄えるだけの十分な対価を支払える環境にもない。大学院学生が出前授業に行くことを奨励しており実績も上がっているが、実際にはこのための予算も限られている。高校担当教員への実習・練習・勉強の機会を増やすことも重要である。大きな成果が将来必ずあると確信している。</p>	
4168	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24010	女性研究者研究活動支援事業	このまま推進すべき	<p>慶應義塾大学において実際にこの施策の恩恵を受けている者として、現時点ではダイレクトに女性研究者をサポートできているのか疑問を持つ試みがなくはないかもしれないが、今後も様々な試みがある程度の長期間にわたって続けていく事ができれば、利用者からのフィードバックもなされ更に洗練したシステムになると確信している。特に慶應義塾大学が行っている病児保育のサポートはとてもしリーズナブルで良いシステムであり、今後国内の他大学に広がるべきであるとする。そこでこの施策の推進を強く要望する。</p>	<p>基礎研究の分野において女性独自の感性や緻密さを存分に発揮できる環境を整える事は、研究の多様性を生み出し日本の基礎研究の底力を高める事につながると強く確信している。しかしながら女性は出産・育児・介護といったあくまでも一時的に研究の推進を遅らせるライフイベントにとらわれる確率が高く、その一時的な不利を社会的にサポートする事で基礎研究の多様性を守る事は国の責務であり、将来的に大きなメリットになると考えている。</p>
	大学・公的						<p>近年、脳はいかにして人間の心の動きを生み出すのかといった観点から、精神(心)と物質(脳)のかかわりを考える「心の哲学」の問題が改めて脚光を浴びており、人々が身近に実感する意識や思考といった心理状態や行動を理解するために、脳科学研究からのアプローチを導入しようとする動きが盛んになりつつある。また、高齢化、多様化、複雑化が進み、現代人の精神の荒廃や行動の</p>	

4169	研究機関 (独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24121	脳科学研究戦略推進プログラム	このまま推進すべき	会科学との融合、さらには大学等における研究体制等を含めた長期的展望に立つ脳科学研究の基本的構想及び推進方策を答申としてとりまとめた。そのため、本プログラムについては、脳科学委員会における検討を踏まえつつ、脳科学研究を戦略的に推進し成果を社会に還元することを目指す必要があり、重要な施策である。	異常、あるいは精神・神経疾患の増加が大きな社会問題となりつつある中で、こうした問題の解決に向けて、科学的・社会的意義の高い脳科学研究に対する社会からの期待と関心は急速に高まっている。さらに、BMIの開発や光科学技術を利用した研究など、脳科学と周辺の学問領域との融合が急速に進み、脳科学の基礎研究における成果を、社会的ニーズに合わせて応用していくといった動きが活発化しており、このような研究開発は、新たな革新的技術の創出をもたらすことが期待される。
4170	大学・公的研究機関 (独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24159	地球内部ダイナミクス研究	このまま推進すべき	地球の内部の動き(ダイナミクス)は地震や火山の発生、資源の生成など、人類の営みに根本的に関わっている。地球内部のダイナミクスに関する研究は、我が国が一番得意とする研究分野の一つである。したがって、その研究の原動力となっている「地球内部ダイナミクス研究」は推進すべき最も重要な研究分野といえる。	計算技術の進歩や海洋観測技術の進展など、他の分野の研究の発展により、地球内部ダイナミクス研究の裾野が広がっている。今この分野に積極的に投資を行う事によって、我が国にとって重要な地球内部ダイナミクス研究が効率よく進展し、地震・火山の予測・海底資源の開発などが進む事が期待される。
4171	大学・公的研究機関 (独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	学術研究への投資(特に若手研究者)をより一層行うべきだと思います。	目先の利害から離れた、学術研究は、将来に渡り日本を支える非常に重要な役割ともつとと思います。その為に、自由な発想が可能な若手研究者を手助けすることが重要であると思います。
4172	大学・公的研究機関 (独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24010	女性研究者研究活動支援事業	このまま推進すべき	是非、推進すべきだと思います。	日本では、女性研究者を取り巻く環境がきわめて厳しいと思います。特に出産・育児で一時的に研究を中断した女性研究者は、なかなか第一線に復帰できません。このような支援事業を進めるべきだと思います。

4173	官公庁	40～49歳	文部科学省	24181	イノベーションシステム整備事業(地域イノベーションクラスタープログラム)	このまま推進すべき	本事業は、国費による大学での基礎・応用研究と、地域負担による産業応用を計画的に組み合わせることで、国際的にもトップレベルのイノベーション拠点を形成するものであり、国、地方ともに必要な事業です。 長期的な視点に立った視点に立った科学技術と地域産業の振興に鑑み、当事業が着実に推進されることを希望いたします。	名古屋市は本事業に参画し、国費により大学等で研究開発されたプラズマ技術を地域の産業に普及するため、市費を投入して「プラズマ技術産業応用センター」を開設しております。当センターでは、研究を実施している大学と連携しながら、プラズマ技術の地域企業への技術移転を実施していますが、国費事業が見直しを受けた場合、研究成果の地域産業への普及は困難になり、産業の活性化に支障をきたすことになります。
4174	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24009	特別奨励研究員事業	このまま推進すべき	若手研究者の支援は必要。	特に基礎科学など、必要だが民間が敬遠しがちな分野は国が支援するべき。
4175	民間企業	50～59歳	文部科学省	24191	第26号科学衛星(ASTRO-H)	このまま推進すべき	我が国の技術力アピール、技術向上/維持のためにプロジェクトを継続する必要がある。	我が国におけるX線天文衛星のこれまでの実績は世界的な評価を受けている。この評価を維持発展させる必要がある。また、プロジェクトを通じた衛星システム技術は、他の科学衛星や小型衛星にも活用されており、技術開発上も重要な役割を担っている。
4176	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	農林水産省	26108	新たな農林水産政策を推進する実用技術開発	このまま推進すべき	事業を縮小せずに、できるだけ多くの公的研究機関や企業等が参加できるようにして欲しい。	現場のニーズを踏まえた研究により、地域の課題解決を図り普及推進がスムーズに行えるため。
4177	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24179	X線自由電子レーザー(XFEL)施設	このまま推進すべき	大いに推進すべきである。	建設はアメリカに遅れをとっているが、日本の優秀な建設チームにより、さらに優れた性能のX線が期待できる。XFELからのX線の利用は未知の領域であり、利用分野において世界を大きくリードするチャンス



	設試等)							は大いにあると思われる。躊躇なく十分な予算を投入し、一刻も早く供用を開始すべきである。
4178	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24178	大型放射光施設(SPring-8)	このまま推進すべき	世界最高性能を有する放射光施設として、性能向上を計りつつ運転を継続するべきである。	大型放射光施設(SPring-8)のこれまでの実績を見れば明らかのように、基礎研究から産業利用、医学応用に亘る広い分野の発展に大きな貢献を果たし続けている。また、世界最高性能のX線発生光源として、放射光利用の裾野を広げると共に、最先端の学術研究や応用研究が行える施設であり、これ程広く役立つ施設は他に無いと考えるから。
4179	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24012	博士課程教育リーディングプログラム	このまま推進すべき	大学院における教育機能を強化するための支援策として重要である。	国際社会で通用する人材育成は、我が国の発展のために必要不可欠であるとともに、新成長戦略のシナリオに沿っている。
4180	その他	60歳～	文部科学省	24008	24008テニュアトラック普及定着事業～24014までの7施策	このまま推進すべき	24008～24014の一連の若手研究者育成強化プログラムを国としてバックアップすべきである。	現在の知識判断でいかに研究項目を選んで、それが当たるかどうかは判らない。新しい問題は常に発生する。頼りは人材である。 しかし、ここに示されたような施策は企業では取り組みが難しい。国の仕事である。
4181	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24141	特別研究員事業	このまま推進すべき	若手研究者の支援は必要。	特に基礎科学など、必要だが民間が敬遠しがちな分野は国が支援するべき。
4182	民間企業	40～49歳	文部科学省	24147	私立学校教育研究装置等施設整備費補助	このまま推進すべき	高度先進医療に代表される医学の先端教育の充実と優秀な人材を確保するために、必要不可欠な施策である。	学術研究の一翼を担う私学は、国際競争力を高める成果を社会に還元することが不可欠である。人材の交流や企業との連携における強みを活かしながら先端教育の充実を図る上で、教育研究装置等施

								設整備費補助は必須である。
4183	大学・公的研究機関(独法・公設等)	60歳～	文部科学省	24181	イノベーションシステム整備事業(地域イノベーションクラスタープログラム)	このまま推進すべき	新たな地域産業の創成に大きく貢献できる事業であるため推進すべき。	事業化の可能性が大きい。
4184	民間企業	50～59歳	経済産業省	27128	水素製造・輸送・貯蔵システム等技術開発	このまま推進すべき	燃料電池実用化推進協議会が示すロードマップでは2015年以降、燃料電池自動車(FCV)の普及開始を目指して水素インフラ関連会社、自動車会社ともに準備を進めています。 FCVの市場投入については、昨年日独米韓の自動車会社が共同声明を出しているため、燃料電池自動車の市場投入について、日本が先行し、自動車産業における国際競争力を継続する必要があると考えます。	2015年までに、水素インフラの整備を進めるためには、水素ステーションコストの低減が必要であり、このために必要なステーション機器の開発や安全性を確保した規制見直しが必要となります。この機器開発や規制見直しのための高圧水素ガスの安全性に関するデータ採取等は大掛かりで企業が実施するにはリスクであるため、国の事業として実施することが必要である。2015年に間に合わせるためには、現在実施中の事業を継続して、強力に推進していただく必要があると考えます。
4185	民間企業	40～49歳	文部科学省	24136	世界トップレベル研究拠点プログラム	改善・見直しをした上で推進すべき	科学に関する研究等に予算をもっと増やして欲しい	科学技術研究等には結果を出すまでに、莫大なお金がかかると思われます。そんな事が何の役に立つのだ…と思われる事等が多々あるが、数年先ではなく、数十年先を見越しての貴重な投資であると考えます。また、予算問題に研究者の貴重な時間を割くのを防ぐ為にも現在の予算よりも増やす事を望みます。
4186	大学・公的研究機関	40～	文部科学省	24131	ライフサイエンス基盤研究領域事業	推進すべきでは	国家プロジェクトとして国民の血税を使う以上、研究成果を社会還元し、開発技術も他の研究者へも公開し提供することが原則である。しかるに、横浜理化学研究所の横山茂之センター長は、ポストドクを100人以上雇用し、数十	以上の行為は、国家プロジェクトを個人研究に占有し、特許をたてに取りながら技術提供をしないばかりでなく、多額の研究費が個人集中されている最も顕著な例で

	(独 法・公 設試 等)	49歳	省		(内、生命分 子システム基 盤研究)	ない	億円の研究費を投入されながら、個人研究を行い、しかも、開発技術を他の研究者に提供することもせず、研究成果を社会還元もしていないと思われる。これは極めて許されざる行為である。	あり、昨年度の仕分けでも最も問題となった点である。即刻周辺調査を行い、以上が事実である以上、プロジェクトを即刻中止すべきである。
4187	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・公 設試 等)	20～ 29歳	文部 科学 省	24122	革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ	このまま 推進す べき	タンパク研究は、先端的な解析技術の開発を継続すると同時に、長期的な観点で実施されるべきであるので、このまま継続して行うべきだと考えます	現在、薬学、医療においてシステムの根幹を成すタンパクの研究は非常に重要であるといえます。 特に新たな治療・薬剤の開発は現在では標的タンパクを設定しての研究が重要となっており、開発時のコスト、リスクの軽減、速やかな開発には下地となるタンパクの研究は必要不可欠であると考えられるからです
4188	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・公 設試 等)	30～ 39歳	文部 科学 省	24122	革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ	このまま 推進す べき	現代社会において、ライフサイエンス分野全体への利用に供するインフラの整備はそもそも欠くべからざるものであり、積極的に推進すべきである。その中でも、本研究プログラムが扱う、蛋白質の構造解析は、ライフサイエンスのあらゆる分野にとって根幹ともいえるべき重要な役割を果たしている。学術的な進歩のみならず、構造解析と機能解析の密接な連携により、医薬の開発や食糧・環境問題の解決など、我々の実質的な生活の向上に直結する成果が期待できるため、強かに推進すべきである。	上記、意見に理由も含めたため、付随的な理由を述べる。最近になってようやく「増えすぎたポストドクと制限されたアカデミックポジション」の問題が取り上げられるようになった。しかし、その深刻な状況はいまひとつ世間一般には届いていない。信じられないほど多数の定職に付けないポストドクにとって、これらのプログラムの縮小は、その臨時の職すら奪うことに繋がる。決して能力が低いから職に就けないのではない事を強調しておきたい。競争原理も働き、本当に優秀な研究者が多い。国が長年かけて育てた有能な研究者たちを現場から失わないように。切に願う。
4189	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・公 設試 等)	40～ 49歳	文部 科学 省	24133	科学研究費 補助金	このまま 推進す べき	我が国の成長戦略として大学等への基盤研究費は、充実させる必要がある。	大学等の基盤研究の発展は、有用な人材養成に直結し、資源に乏しい我が国としては、人材の育成こそが成長の源泉たり得るからでありま

	等)							す。
4190	大学・ 公的研究 機関 (独 法・公 設試 等)	40～ 49歳	文部 科学 省	24179	X線自由電子 レーザー (XFEL)施設	改善・見 直しをし た上で推 進すべき	未来を切り開く新しい光 源として広い分野にお いて革新的な発展をも たらす事が大いに期待 できるので、予算を増額 して積極的に推進すべ きである。	昨年度、米国(LCLS)で X線領域のレーザー発 振が既に達成されたた め、XFELが世界初にな ることは叶わなかった が、LCLSから新しい研 究成果が次々と生まれ ている現状に鑑み、 XFELの計画には、積極 的に予算を上積みして でも、安定で広い波長 範囲に亘る自由電子レ ーザー光源の開発を早 急に行うべきであると考 えるから。
4191	小・ 中・高 校	50～ 59歳	文部 科学 省	24147	私立学校教 育研究装置 等施設整備 費補助	このまま 推進す べき	私立大学の学術研究活 動を支えてきた施設・装 置等への補助は各学校 のそれぞれの分野にお いて技術発展・人材育 成に大切な役割を果た してきました。今後さら に混迷するであろう世 界情勢の中で日本とい う国が「日没する国」で はなく、「日出づる国」で ある為にも学術・技術立 国たる日本の基盤を支 え、すそ野を広げる為 にもこれらの補助は削 るべきでないと思いま す。	今、我が国に求められ るのは、端的に言えば 幕末の思想家佐久間象 山の「東洋道德・西洋技 術」ではないでしょうか。 西洋技術を追いかけ近 代化を目指し、発展して きた日本に求められる のは世紀を越えたこの スタンスからの学術・技 術を通した国づくりで はないかと思えます。その 学術・技術の基盤を支 え、そのすそ野をさら に広めていくためにも この施設設備への補助 は不可欠であると考え るからです。
4192	大学・ 公的研究 機関 (独 法・公 設試 等)	30～ 39歳	文部 科学 省	24133	科学研究費 補助金	このまま 推進す べき	科学研究費は、どのよ うな研究分野でも申請 できる唯一の研究費で ある。研究費の大型化 、選択と集中が進む中 、このような分野によ る制限のない研究費は 、日本の学問の多様性 を維持する上で大変重 要である。したがって 、このまま推進すべ きであり、さらに増額 するよう国は対応すべ きである。	科研費は、大学の基礎 研究を支える貴重な研 究費である。運営費交 付金の削減等に伴う、 基盤研究費の減少が著 しい今、この科研費が 大学の基礎研究を支 えている。また、厳し い競争になっており、 研究費の心配をす ることなく研究を できる環境が失われ つつあり、どうしても 短期で結果が出る テーマに偏る傾向に なっている。このよ うなことが続けば、 日本の科学技術を 支える基礎研究が 衰退してしまう。あ るまとまった期間、 じっくりと腰を据 えた研究ができる よう、採択率の向上 と、配分金額の増額が

							強く望まれる。	
4193	大学・ 公的研究 機関(独 法・公 設試 等)	50～ 59歳	文部 科学 省	24133	科学研究費 補助金	このまま 推進す べき	科学研究費補助金は、他の施策と比較すると新規性の点でアピール不足と見られる危惧があるが、これまで長年の歴史を経て、多くの研究領域・分野をカバーする優れたシステムが構築されてきている。応募分野の不断の見直しなどの改善は必要であると思うが、研究者の時間的資源が有限であることを重視すれば、一見斬新で目を引くような施策のみに偏らず、研究者が多く経験を積んでいる科学研究費補助金を充実・活用することは学問研究の振興にとって結局は効率的である。	研究教育行政に携わる方々が厳しい財政状況の中で最大限の努力をされていることはよく理解でき、また研究の社会への還元や成果の説明が大切である。一方、大学の研究者が評価への対応や予算申請・予算管理業務で多忙となり、本来の役割である教育研究に当てられる時間が年々減少している。予算獲得や評価においてあまりにも行政の論理や行動様式を大学に要求し、いわば研究者を末端の事務処理の要員として動員しているかの如き状況が作り出されてはいないか。一見斬新で目を引くような施策は、ともすればシステムとして未成熟であるため、応募や管理業務が研究者の大きな負担となる。
4194	大学・ 公的研究 機関(独 法・公 設試 等)	30～ 39歳	文部 科学 省	24010	女性研究者 研究活動支 援事業	このまま 推進す べき	女性研究者および産休・育休による研究の遅れに対する支援をもっと増やすべきだと考えます。	現在1児の母で、産休後の研究者支援により雇用されている他、大学からも支援を受けています。しかしこれらの支援は競争が激しい現状で非常に限られた人しか受けることができず、支援を受けている私の現状でも研究環境に満足とは程遠いものです。まだまだ支援は不十分であると考えます。
4195	民間 企業	50～ 59歳	文部 科学 省	24187	産学イノベ ーション加速 事業【戦略的 イノベーション 創出推進】	このまま 推進す べき	近年、低下が苦慮されている日本の科学技術レベルを世界レベルにまで戻し、それを維持するためには、国の長期的視点にたった資金援助が必要で、そのためには、本事業は有意義であり、ブレのない継続と更なる発展が望まれる。また、国の資金により産学連携を推進するこのスキームは、学の頭脳を、企業が最大限	企業に所属する者としては、昨今の景気の浮き沈み、速い製品サイクルを考えると、社内的に長期的な研究計画は認められなく、また、学との連携も、限られた予算内の、限られた期間内に制限されている。本事業の優れている点は、長期にわたり研究

							生かす仕組みとして有効であり、企業が資金を供出する一般の共同研究に比べ、企業の負担が減り、また、その分を効果を最大限にまで引き出すことが期待できる。	費を国が保証してくれることで、企業の速いサイクルに巻き込まれることなく、長期視点に立った研究開発を進めることができる。
4196	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	20～29歳	厚生労働省	25113	独立行政法人医薬基盤研究所 保健医療分野における基礎研究推進事業	このまま推進すべき	より予算を増やしたほうがいい	現在海外よりも遅れているのにより予算を減らしたら、日本はおいていかれる。またそのことが日本の経済にも影響を与えると思う。
4197	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24143	大学院教育改革推進事業のうち、グローバルCOEプログラム	このまま推進すべき	グローバルCOEプログラムは、日本の既存の大学組織では困難であった新しい研究分野の研究体制を構築し、そのための人材育成を行うことに成功してきた。競争的な資金配分により、大学運営にも新しい研究分野でのグローバルなレベルでの研究競争に取り組むインセンティブを生んだ。競争的資金の獲得が大学にとって魅力的なものにするためには、間接費を配分することが必要である。間接費の復活を含め増額が必要である。	グローバルCOEは、日本の研究大学間の競争を高め、各大学が得意分野を自覚し、資源を集中し効率化していくための起爆剤として十分に機能した。新しい分野の教育体制も整ってきたところで、縮小・中断することは、拠点に結集した研究者の雇用を失わせるだけではなく、育ちつつある学生の活躍の場もなくなることを意味する。
4198	民間企業	50～59歳	文部科学省	24125	免疫・アレルギー科学総合研究事業	改善・見直しをした上で推進すべき	安心して受けられる花粉症治療の早期開発をお願いしたい。 (1)副作用が極小の服用薬、点鼻薬。 (2) " " サプリメント類 の 効能の確定。 (3) " " 食品(ヨーグルト等)の " "。	・私事ですが、家族3名とも花粉症に長く悩まされており、その中でも妻が一番ひどく、一年中抗アレルギー剤が手放せません。長期服用による副作用など、たいへん心配です。安心して取り組める治療法の日も早い開発を期待しております。 ・サプリメント類でも、最近ヨーロッパでは落(フキ)の効能が噂されている由。諸説が流布されていて、何が信用できるのか、是非何らかの評価を実施していただきたい。 ・以上の観点から、当該事業の規模・内容が十

							分なのか疑問に感じます。是非十分な事業が行えるよう、増進する方向で再検討いただきたい。	
4199	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	50～59歳	文部科学省	24149	国立大学法人等施設の整備	このまま推進すべき	我が国がグローバル化した世界でこれからも有為な人材を輩出し、国家存立の基盤を作るには、最終的には高等教育の質と量の維持と改善が必要である。とくに、対GDP比でOECD諸国中、公的資金の投入比率が最低ランクに近い現状は、何としても改善が必要である。その意味から、大学の基盤的な設備の整備は優先度の高い施策である。	先進国における大学のキャンパスを実際に比較すれば歴然としているが、我が国の国立大学の施設設備はとても優位性を誇れる状況ではない。一見斬新なプロジェクトにいくら資金を投入しても、それを支える基盤がなければ砂上の楼閣である。
4200	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24133	科研費補助金	このまま推進すべき	若手研究者への研究資金を広く割り当てることに大いに賛成致します。また、平成21年度で継続を打切った競争的研究資金に対しても再考をお願いいたします。	日本における若手研究者の自由な発想に基づく研究を支援することで次世代を担う研究の芽の数と成長速度は増すはずです。